

第32回 通常総会 議案書

パルシステム協力会

〒169-8527 東京都新宿区大久保2-2-6 3F
TEL (03) 6233-7201



パルシステム協力会

2021年7月6日(火)

● も く じ

第1号議案	2020年度(第31期)活動報告承認の件	2
	2020年度(第31期)活動報告	4
第2号議案	2020年度(第31期)決算報告、 ならびに監査報告承認の件	12
	監査報告書	13
第3号議案	2021年度(第32期)活動方針(案)承認の件	14
第4号議案	2021年度(第32期)予算(案)承認の件	16
第5号議案	会則一部改訂の件	17
第6号議案	役員改選の件	18
	商品展示・組合員交流部会(商品展示会実行委員会)・活動報告	20
	物流部会・活動報告	23
	品質管理部会・活動報告	26
	環境部会・活動報告	37
	異業種交流部会・活動報告	42
	2021年度協力会・会員団体名簿	46
	■正会員	
	■準会員	
	■特別会員	
	2020年度・学習会・工場見学・センターまつり開催実績(2021年3月現在)	50
	<資料>	
	パルシステム協力会会則	52
	パルシステム協力会公式サイト案内	57

第1号議案

2020年度(第31期)活動報告承認の件

〔はじめに〕

「新型コロナウイルス感染症」の影響は、収束の目処がつかないまま、ほぼ1年が経過しました。有効な対策として期待された「ワクチン接種」についても、まだ十分とは言えない状況です。

こうしたなか、わたくしたちは、新しい生活様式に基づいたくらし、生活パターンへの変更を余儀なくされています。

在宅率アップにともなう「巣ごもり」需要により、無店舗宅配事業であるパルシステムは、組合員(消費者)のくらしの課題解決に貢献することにより、大きく事業伸長しました。

パルシステム協力は、改めて「協力会会員」、「パルシステム会員生協」、「パルシステム連合会関係部署」、「パルシステム・生産者・消費者協議会」と連携、協力しながら、パルシステム連合会の事業に協力、支援し、ひいては協力会会員の事業活動にも寄与できるような活動を行う原点に立ち返り、「新型コロナウイルス感染症」による社会・経済状況の変化に、どう対応・適応していくかの岐路に立たされています。

〔パルシステム連合会の2020年度事業状況〕

パルシステム連合会の2020年度・総事業高は、2,049億円、前年比114.93%、予算比114.99%でした。「新型コロナウイルス感染症」の問題は、今後、豊かなくらしを実現させるため「人」、「環境」、「平和」、「連帯」、「パートナーシップ」を前面に出して取り組んでいるパルシステム連合会の課題・取り組みと連動するもので、ますます重要なものとなります。

〔2020年度協力会の活動を振り返って〕

パルシステム協力は、正会員237社、準会員78社、特別会員10会員、計325会員が会員登録。(2021年3月現在)

パルシステム協力は、全会員を対象にした7月開催の「通常総会(書面議決)」、11月開催の「秋の講演会(オンライン開催)」、1月実施の「賀詞交歓会(中止)」について、内容を変更、または中止せざるを得ませんでした。

また、秋の会員生協と共催の「商品展示会」、組合員(消費者)向け「学習会」、「工場見学」、会員生協主催の「センターまつり」につきましても、直接交流する「リアル」な対応ができず、「オンライン」による開催、または中止せざるを得ませんでした。

「新型コロナウイルス感染症」の影響を受けながらも、パルシステム協力は、状況の制約条件に対応しつつ、活動してまいりました。

2020年度活動方針案に沿って振り返りますと、

I 「ほんもの実感」くらしづくりアクション(エシカル消費)に、積極的に協力、参画します。

連合会と共催で、2021年1月15日「第3回オンラインプラスチック削減プロジェクト」会議を開催しました。

また、2月には森林環境管理問題「FSCジャパン・河野氏講演会」、SDGsに関する勉強会をスタートさせました。(※詳細は、「環境部会・活動報告(38～41ページ)」参照)

II 「産直産地(生消協)」との接点、交流をさらに深化させます。

1. 機会をとらえて、「産直産地(生消協)」との交流促進を検討しましたが、直接話し合い、交流できる機会を設定できず、次年度の課題となりました。
2. 協力会研修にて、「農業体験」、「漁業体験」等を企画していましたが、2020年度は、研修会を開催できませんでした。

III 商品管理・品質保証の充実に取り組みます。

1. 品質保証部と連携して、2020年10月「異物混入分析」をテーマとしたオンライン学習会、2021年4月「ゲノム編集」をテーマとしたオンライン学習会に取り組みました。
2. 品質管理強化月間ポスターを作成し、2020年6～7月に食品取扱メーカーを中心に配布しました。
3. 「HACCPリーダー養成講座」を、2021年4月21日～23日にかけて、オンラインにて開催しました。

IV 「商品展示会」の内容充実と新たな取り組みを行います。

・従来開催していた、直接交流可能な「リアル商品展示会」は開催できませんでしたが、会員生協のご協力により、「パルシステム神奈川」、「パルシステム群馬」にて、「オンライン商品展示会」を開催しました。

V 物流課題認識、共有化を図ります。

1. 物流部会において、2021年3月29日「物流セミナー2021」を、オンラインにて開催しました。
2. 2020年11～12月、歳末物流月間ポスターを、会員(取引先)、パルシステムセンター向けに配布しました。

VI 組合員向け「学習会」、「工場見学」、「センターまつり」の充実・円滑運営を図ります。

1. 2020年度より「パルシステム商品学習会」が、「ほんもの実感」「協力会」の2つの区分でスタートしました。
2. 2020年度、下期より協力が受付窓口として、「学習会」のオンラインによる開催をスタートさせました。経験を積み重ねることにより、さらに内容の充実を図ることが課題です。

VII デジタルによる会員交流強化を図ります。

・新型コロナウイルス感染症拡大にともない、会員生協(組合員)や会員(取引先)とのリアルな交流の場が失われている現在、デジタルツールを活用したWeb会議やWebセミナー(ウェビナー)等に可能なかぎり取り組みました。

協力の具体的な活動は、議案書【商品展示・組合員交流部会】、【物流部会】、【品質管理部会】、【環境部会】、【異業種交流部会】、五つの部会報告をご参照ください。

※議案書巻末に「パルシステム協力会・正会員・準会員登録団体名簿」、「学習会・工場見学・センターまつり」2020年度実績、「パルシステム協力会会則」を添付しております。

第1号議案 2020年度(第31期)活動報告

1. 通常総会

第31回通常総会(書面議決)開催

2020年7月7日(火)開催予定総会は、中止となりました。

・総会に代わるものとして、「総会議案書」、「部会活動報告書」、「書面議決書」を、会員に配信のうえ、

2020年6月30日、書面議決書を集約し確認いたしました。

2020年7月3日、書面議決書の結果について、協力会・会員あて議決結果報告を行いました。

2020年7月7日開催、第31期第2回幹事会にて、書面議決内容を最終報告し承認を得ました。

パルシステム協力会第31回通常総会議決結果

1. 提出者

正会員236社中、219社提出

2. 議事

第1号議案 2019年度(第30期)活動報告承認の件	賛成219、反対0、無効0
----------------------------	---------------

第2号議案 2019年度(第30期)決算報告ならびに 監査報告承認の件	賛成219、反対0、無効0
--	---------------

第3号議案 2020年度(第31期)活動方針(案)承認の件	賛成219、反対0、無効0
-------------------------------	---------------

第4号議案 2020年度(第31期)予算(案)承認の件	賛成219、反対0、無効0
-----------------------------	---------------

3. 結果

すべての議案について、過半数の賛成をもって可決されました

4. 意見等

・予備費については適宜有効に使ってほしい

2. 秋の講演会・懇親会

・日時 :2020年11月4日(水) 13:30~16:00

・開催場所:品川プリンスホテル アネックスタワー5F プリンスホール

・開催方法:会場参加と、Zoomウェビナーによるオンライン配信にて開催しました。

内容①:「Withコロナ パルシステム2030ビジョン」13:45~14:45

講演者:パルシステム連合会

代表理事 専務理事 渋澤 温之氏

・冒頭、Withコロナ・2020年度・上期について、高止まりの状況、自然災害への取り組み、欠品防止施策等の説明がありました。

・2020年度下期実行課題については、感染防止策徹底・供給対策、生鮮物流再編・品ぞろえ拡充、商品事故削減・防止対策、ブランド認知向上施策、産直事業推進体制の強化、オンライン交流の深化・拡充等について説明がありました。

・「パルシステム2030ビジョン」

ビジョンを支える視点は、「一人ひとりの行動が、持続可能な地域社会をつくり、世界の平和につながる」SDGsのメッセージを、自らの共感と選択による事業と運動への参加・参画を呼び掛けながら、あらゆる人たちと手を取り合い、パルシステム2030ビジョンを実現する内容で説明しました。

・ビジョン実現の施策として「たべる(食)」、「つくる(農・産直)」、「ささえあう(福祉・たすけあい)」、「きりかえる(環境)」、「わかりあう(平和)」、5つのキーワード(ポイント)について説明がありました。具体的な取り組み課題として「1.事業革新」、「2.人と組織」、「3.協同と連帯」について報告がありました。

・最後に、「商品づくりの基本・5項目」、「パルシステムの商品づくり7つの約束」、「パルシステムの生活用品への6つの想い」の原点を説明し、講演を締めくくりました。

・補足として、コロナ禍、重要性が増している「オンラインによる取り組み」について説明がありました。



公演する渋澤 温之氏

内容②:「プラスチック排出量削減3カ年取り組みの成果とこれから」15:00～15:30

講演者:パルシステム連合会

環境活動推進室 室長 植村 幸子氏

・冒頭、『「産直」手法を活用した「顔の見える」再生エネルギー普及活動』について、令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰の報告がありました。

・プラスチックの環境問題について、日本、国際社会の状況、また、国内企業3社の取り組み、パルシステム2030ビジョンに関連して「きりかえる(環境)」について説明がありました。

・2019年度実績 プラスチック排出総量 3,461.0t
基準比 102.6%(+88.8t)
3年間、120商品、2商品群包材改良:削減量 72.5t(見込み値)

具体的に、包材改良の内訳について、具体的な事例を入れて詳しく説明がありました。

・パルシステム・プラスチック削減について、広報として取り上げられた活動「日本食糧新聞」、「海岸クリーンアップ活動」、「KOKOCARA」、「商品展示会・広報・取り組み」、「環境キャンペーン」等について、説明がありました。

・「エコ・パッケージマーク」(2020年5月2回～)、「プラ削減マーク」(2021年1月～)についても説明がありました。



植村 幸子氏による講演

内容③ :「物流部会歳末物流強化月間取り組み」ご案内

呼びかけ:パルシステム協力会

物流部会 部会長 大葉 秀樹氏

内容④:「パルシステム協力会／ふれあい保障制度」報告

報告者:(株)ふれあいサービス

3. パルシステムグループ賀詞交歓会

パルシステム生活協同組合連合会・パルシステム共済生活協同組合連合会

パルシステム生産者・消費者協議会・パルシステム協力会共催で開催予定の「賀詞交歓会」は、中止となりました。

4. 臨時総会(書面議決)

第31期パルシステム協力会臨時総会(書面議決)開催

・2020年度「繰越金」が、約30,000千円(前年度13,000千円)見込まれること。

・2021年度「年会費」を、2021年度特別処置として、半額とすることを目的とする。年会費の改定は、総会決議事項である為、2021年4月7日(水)臨時総会を開催することとなりました。

パルシステム協力会第31回臨時総会議決結果

1. 提出者

正会員236社、152社提出

2. 議事

第1号議案 2021年度年会費基準改定の件

賛成152、反対0、無効0

第2号議案 2021年度会則一部改訂の件

賛成152、反対0、無効0

3. 結果

すべての議案について、過半数の賛成をもって可決されました

4. その他

臨時総会(書面議決結果)について、2021年4月8日(木)協力会・会員すべてに報告をしました

5. 2020年度商品展示会(会員生協共催)

・2020年度、2会員生協(パルシステム神奈川、パルシステム群馬)において、オンラインを使った開催がありました。(詳細は、「第31期部会活動報告・【商品展示・組合員交流部会】」ページをご参照ください。)

6. 「2020年度・学習会・工場見学・センターまつり」

・2020年度、学習会41件・参加者1,119名の実績でした。パルシステム連合会・組合員(消費者)との交流促進の一助となるべく活動いたしました。(学習会・工場見学・センターまつりの詳細は、巻末「2020年度学習会・工場見学・センターまつり」開催実績をご参照ください)

7. 会議

●幹事会		
期 日	場 所	内 容
2020年 5月25日（月） 第31期第1回幹事会 （リモート会議）	リモート会議 （WEB会議）にて 実施。	第31期・第1回幹事会開催 出席／安田会長（北海道漁連）、竹内副会長（井ゲタ竹内）、 江橋事務局長（三菱食品）ほか幹事会社16社出席。 連合会：辻常務理事、西田商品開発本部副本部長、 川村第2商品部長 事務局：土肥・乙成 議題／第31回通常総会について ・5月25日（月）幹事会にて書面決議での通常総会開催を承認。（同日、 全会員（正会員・準会員・特別会員）へ通常総会、熱海での開催中止 をメールにて案内。） ・6月22日（月）全正会員へ、総会議案書・書面議決書を配信。 ・6月30日（火）書面議決書／返信締め切り日。 ・7月7日（火）幹事会を開催し表決を確認する。 ・「2019年度決算」および「2020年度予算」について、26日実施・会 計監査にて精査してもらう。 2020年度活動計画について ・11月実施「秋の講演会」 ・「パルシステム協力会公式サイト」開設。 ・商品展示会は、リアルでの開催は困難。 ・緊急対応、4月・マスク無料配布。パルシステムと相談、マスク在庫も 考慮のうえ、最前線で組合員と対応している「物流会社7社」に配布 しました。 費用:@40円×70,000枚＝2,800,000円 予備費から支出。（適正価格・マスク在庫のある商社を、水宗園様より ご紹介いただきました） 事前に、幹事会三役に相談のうえ、パルシステム連合会とも連携をとっ て対応しました） ・部会活動は、講演会、学習会、啓蒙ポスター作製等、可能なかぎり実 施することを確認。
2020年 7月7日（火） 第31期第2回幹事会 （リモート会議）	リモート会議 （WEB会議）にて 実施。	第31期・第2回幹事会開催 出席／安田会長（北海道漁連）、竹内副会長（井ゲタ竹内）、 江橋事務局長（三菱食品）ほか幹事会社20社出席。 連合会：辻常務理事、西田商品開発本部副本部長 川村第2商品部長 事務局：土肥・乙成 議 題／・第31回パルシステム協力会通常総会／書面議決結果報告。 4ページ・通常総会内容参照。 ・2020年度・第31期秋の講演会について「講演会」のみ実施で決定。 ・各部会活動は、予定通り準備中。

期 日	場 所	内 容
2020年 9月23日（水） 第31期第3回幹事会 （リモート会議）	リモート会議 （WEB会議）にて 実施。	第31期・第3回幹事会開催 出席／安田会長（北海道漁連）、竹内副会長（井ゲタ竹内）、 江橋事務局長（三菱食品）ほか幹事会社20社出席。 連合会：辻常務理事、：西田商品開発本部副本部長 事務局：土肥・乙成 議題／・第31期秋の講演会について 開催方法：Zoomウェビナーオンライン配信 日時：2020年11月4日（水）13:30～ 会場：品川プリンスホテル・アネックスタワー オンライン参加人数・上限500名。 会場招待人数・上限120名。 演題:5～6ページ、秋の講演会内容参照。 ・パルシステム連合会主催「オンライン商品学習会ガイダンス」について 日時:10月9日（金）14:00～15:00開催 オンライン学習会の流れ、データ作成、運営方法、アレンジ等について、 基礎からわかりやすく、説明の予定。協力会も全面応援することを、 確認。 ・2021年度パルシステム生産者・消費者協議会（生消協）との連携に ついて コロナ禍、協議が中断。2021年度パルシステム商品開発本部・事業 方針のなかで生消協と協力会の連携、取り組みをうたう予定。 ここまでの協議のなかで、お互いを知ることがスタート、お互いの名簿 共有を図る。 信頼関係構築後、「お互いできることをやりましょう」確認済み。 提携のなかで、組合員の位置づけ、関係性もポイントとなる。 等の意見が出された。 ここまでの経過も踏まえ、協力会事務局と生消協（交流政策課）と協議 の場（会議体）を設け、継続的に協議を行っていくことを確認しました。
2020年 11月4日（水） 「秋の講演会」開催	配信会場: 品川プリンスホテル アネックスタワー5階	第31期・秋の講演会開催。 ・プリンスホテル配信会場と、オンライン配信の2本立てで開催しました。渋谷 専務理事、植村環境活動推進室長が講演。 内容:5～6ページ、秋の講演会内容参照。

期 日	場 所	内 容
2020年 12月11日（金） 第31期第4回幹事会 （リモート会議）	リモート会議 （WEB会議）にて 実施。	第31第4回幹事会開催 出席／安田会長（北海道漁連）、竹内副会長（井ゲタ竹内）、 江橋事務局長（三菱食品）ほか幹事会社16社出席。 連合会：辻常務理事、西田商品開発本部副本部長 川村第2商品部長 事務局：土肥 議題／・第32回通常総会開催について 1.「熱海後楽園ホテル」（静岡県） 開催案 2.「アジュール竹芝」（東京都） 開催案 3.「オンラインのみ」 開催案 4.「書面議決」 開催案 上記案を、事務局より提案。次回幹事会にて、再協議。 ・パルシステム協力会HP制作について進捗報告 1.公式サイトの構成（内容） ①「協力会とは」（“about us”） ②各種活動案内（総会、秋の講演会、賀詞交歓会、部会、研修会、 商品展示会 その他） ③各種お知らせ（総会、秋の講演会、賀詞交歓会 その他） ④協力会会員紹介 公式サイト概算費用 1 イニシャルコスト（初期費用）約400万円（HP制作費、年間 サーバーレンタル料、サーバー契約に伴う諸費用、サーバー管 理費等含む） 2 ランニングコスト（維持・管理費用） 年間サーバーレンタル料+保守点検管理費＝約25万円／年 事務局より、公式サイト費用報告し、幹事会承認をいただく。 ・2021年度パルシステム生産者・消費者協議会（生消協）との連携に ついて 昨年度よりの継続検討事項。 「まずお互いを知る事から始めましょう」の観点からオンラインを 使った（仮称）「生消協・協力会 オンライン大交流会」開催を事務 局にて検討。 ・「ゲノム編集技術応用食品」に対する考え方とご協力のお願いについて （辻常務） ゲノム編集食品に関する学習会と協力会会員間の共有できる場を 設けて欲しい。事務局にて検討。
2021年 2月15日（月） 第31期第5回幹事会 （リモート会議）	リモート会議 （WEB会議）にて 実施。	第31期第5回幹事会開催 出席／安田会長（北海道漁連）、竹内副会長（井ゲタ竹内）、 江橋事務局長（三菱食品）ほか幹事会社16社出席。 連合会：辻常務理事、西田商品開発本部副本部長 川村第2商品部長 事務局：土肥 議題／・パルシステム協力会公式サイト制作について。 制作会社・パルシステムリレーションズより、概要説明。 ・第32回通常総会について 講演会、講師はパルシステム連合会 大信理事長に要請。テーマは 「2030ビジョン」「withコロナ」ほかを予定。 ・第31期（2020年度）予算進捗について 「新型コロナウイルス感染症」の影響により、次年度繰越金が、 約30,000千円（前年度13,000千円）が見込、事務局より報告。 パルシステム連合会、生消協とも連携して、喫緊の課題を共有化し、場合 によっては、次年度・年会費減額、臨時総会も視野に入れ、対応を検討 すること確認しました。

期 日	場 所	内 容
2021年 3月19日（金） 第31期第6回幹事会 （リモート会議）	リモート会議 （WEB会議）にて 実施。	第31期第6回幹事会開催 出席／安田会長（北海道漁連）、竹内副会長（井ゲタ竹内）、 江橋事務局長（三菱食品）ほか幹事会社16社出席。 連合会：辻常務理事、西田商品開発本部副本部長、川村第2商品部長 事務局：土肥 議題／・2020年度繰越金の使途について 2020年度・執行予定「フードバンク等団体への支援（計200万円を 上限に実施）」について提案。支援先の活動地域バランス、団体の客 観性について確認の要請がありました。 ・2021年度・年会費減額について 2021年度・年会費について、2021年度のみの特別処置として、正・ 準・特別会員含めすべて年会費を半額とすることを提案、承認をいた だきました。 ・第31期 臨時総会開催について 年会費の改定＝会則の変更は総会の議決事項の為、臨時総会の開催 が必要となります。 4月7日「臨時総会（書面議決）」開催について、幹事会承認をいただ きました。 ・第32回通常総会開催について、「オンライン総会」にて実施すること で、幹事会承認をいただきました。
2021年 4月7日（水） 第31期第7回幹事会 （リモート会議）	リモート会議 （WEB会議）にて 実施。	第31期第7回幹事会開催 出席／安田会長（北海道漁連）、江橋事務局長（三菱食品） ほか幹事会社12社出席。 連合会：辻常務理事、西田商品開発本部副本部長、川村第2商品部長 事務局：土肥 議題／・第31期パルシステム協力会臨時総会／書面議決結果報告。 第1号議案 2021年度年会費基準改定の件、 賛成152、反対0、無効0 第2号議案 2021年度会則一部改訂の件 賛成152、反対0、無効0 すべての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。 ・「第32期協力会活動方針案」について提案。 次回幹事会までに、意見を集約。 ・「協力会公式サイト」正式発足報告。 ◎パルシステム協力会ホームページ URL https://pal-kyoryokukai.jp/

協力会の具体的な活動は、議案書19～45ページ【商品展示・組合員交流部会】、【物流部会】、【品質管理部会】、【環境部
会】、【異業種交流部会】の5つの部会報告をご参照ください。

7. 慶弔・その他

●慶弔 2020（令和2）年度

2020年 5月16日 株式会社八幡屋（現・株式会社ピックルスコーポレーション）
代表取締役会長 荻野 芳朗 様
ご逝去につき弔電をおくる。

5月26日 ささかみ農業協同組合 前代表理事組合長 清田 寿一 様
ご逝去につき弔電、生花をおくる。

6月16日 株式会社パルシステム電力 元常務取締役 小澤 一郎 様
ご逝去につき香典、弔電、生花をおくる。

8月26日 丸久味噌株式会社 代表取締役社長 丸山 邦雄 様
ご逝去につき弔電をおくる。

第2号議案

2020年度(第31期)決算報告、ならびに監査報告承認の件

2020年度 パルシステム協力会
自 2020年 5月1日 ～ 至 2021年 4月30日

(単位:円)

勘定科目		当期予算額	当期実績額	予算増減額	予算対比	備考
収 入	年 会 費 収 入	37,000,000	36,499,300	△ 500,700	98.6%	正会員・準会員・特別会員(会員生協)
	そ の 他 会 費 収 入	1,200,000	0	△ 1,200,000	0.0%	
	合 計	38,200,000	36,499,300	△ 1,700,700	95.5%	
支 出	委 託 費	3,960,000	3,960,000	0	100.0%	事務局業務委託費
	通 信 費	2,307,000	5,372,698	3,065,698	232.9%	
	(カタログ発送費)	77,000	84,655	7,655	109.9%	カタログ発送費実費徴収、カタログ転送費
	(郵 便 料 金)	0	390	390	0.0%	
	(LAN及び分担費)	230,000	237,600	7,600	103.3%	
	(そ の 他 通 信 費)	2,000,000	5,050,053	3,050,053	252.5%	含むHP開設・メンテナンス費用
	旅 費 交 通 費	20,000	0	△ 20,000	0.0%	事務局交通費
	会 議 費	150,000	218,020	68,020	145.3%	幹事会
	調 査 研 究 費	300,000	448,470	148,470	149.5%	コープ手帳購入他
	消 耗 品 費	300,000	79,336	△ 220,664	26.4%	専用封筒作成費用
	渉 外 費	100,000	24,850	△ 75,150	24.9%	慶弔関係費・生花代
	事 務 所 負 担 費	400,000	396,000	△ 4,000	99.0%	半期ごとの支払い
	会 計 委 託 費	200,000	198,000	△ 2,000	99.0%	半期ごとの支払い
	部 会 費	2,300,000	2,573,781	273,781	111.9%	
	(組合員交流部会費)	200,000	58,564	△ 141,436	29.3%	商品展示会実行委員会運営
	(物 流 部 会 費)	700,000	612,854	△ 87,146	87.6%	セミナー、講演会、歳末強化月間ポスター
	(品質管理部会費)	600,000	1,100,620	500,620	183.4%	学習会(年2回)、品質管理強化月間ポスター、HACCPリーダー養成講座補助
	(環 境 部 会 費)	400,000	267,487	△ 132,513	66.9%	講演会、学習会
	(異業種交流部会費)	400,000	534,256	134,256	133.6%	セミナー、学習会、部会運営
	商 品 展 示 会 費	3,925,000	581,090	△ 3,343,910	14.8%	
	(会 員 生 協 補 助)	500,000	200,000	△ 300,000	40.0%	
	(出 展 会 員 補 助)	2,000,000	405,000	△ 1,595,000	20.3%	
	(展 示 会 保 険)	25,000	△ 36,502	△ 61,502	-146.0%	
	(まとめ冊子作成費)	400,000	0	△ 400,000	0.0%	
	(備 品 作 成 費)	1,000,000	12,592	△ 987,408	1.3%	のぼり・協力会エプロン追加、クリーニング費用
	総 会 費	450,000	561,784	111,784	124.8%	
	(会 場 費)	0	0	0	0.0%	
	(議案書作成費)	350,000	561,784	211,784	160.5%	
	(そ の 他 運 営 費)	100,000	0	△ 100,000	0.0%	講演料、懇親会運営費、プログラム(次第)作成費他
	秋 の 講 演 会 費	7,200,000	4,156,400	△ 3,043,600	57.7%	会場費(品川プリンスホテル)、懇親会費等
	賀 詞 交 歓 会 費	3,700,000	0	△ 3,700,000	0.0%	
	雑 費	150,000	89,100	△ 60,900	59.4%	支払手数料、協賛金等
	予 備 費	12,738,000	5,080,000	△ 7,658,000	39.9%	新型コロナウイルス生活困窮者支援団体寄附金、物流会社へのマスク支援
	合 計	38,200,000	23,739,529	△ 14,460,471	62.1%	
事 業 剰 余 金		0	12,759,771	12,759,771	0.0%	
雑 収 入		0	420	420	0.0%	
当 期 剰 余 金		0	12,760,191	12,760,191	0.0%	
前 期 繰 越 金		13,022,273	13,022,273	0	100.0%	
次 期 繰 越 金		13,022,273	25,782,464	12,760,191	198.0%	

2021年5月31日

パルシステム協力会
会長 安田 昌樹 殿

監事 宮 敬一郎



監 査 報 告 書

私監事1名は会則第6条5項に基づき、2021年5月31日パルシステム生活協同組合連合会会議室にて、2020年5月1日～2021年4月30日までの年度会計収支決算について、下記の通り厳正に監査を実施しましたので、ここに報告いたします。

記

1. 監査日時 2021年5月31日(火) 15時00分～15時40分
2. 監査場所 パルシステム生活協同組合連合会東新宿事務所 4階 第7会議室
3. 監査立会人 パルシステム協力会 会計 井上 文喜
パルシステム協力会 会計 酒井 久徳
パルシステム協力会 監事 宮 敬一郎
パルシステム生活協同組合連合会 経理部経理1課 田中 浩行 影山 安代
パルシステム協力会事務局 土肥 勝憲
4. 監査の範囲 2020年度一般会計の収支決算について
5. 監査の方法 事務局より決算資料の説明を行い、その後監査を開始しました。その後決算書、期末残高証明書の照合確認を行いました。
6. 監査結果 1) 一般会計は適正に処理されていました。
2) 預金通帳・現金出納帳・入出金伝票・領収書の書類は整理されていしました。
7. 付記意見 3) 期末残高は、預金通帳などとも合致していました。
パルシステム協力会の活動が活発になるよう、引き続き適正な予算執行が行われることを望みます。

以上

第3号議案

2021年度(第32期)活動方針(案)承認の件

〔「Withコロナ」時代の新たな活動のあり方を提案し行動します〕

2020年より現在にいたるまで、世界的規模で発生している「新型コロナウイルス感染症」により、「新しい生活様式(ニューノーマル)」に対応した、社会・経済・産業のイノベーション(変革)が必要となることでしょう。

パルシステム協力は、「パルシステム事業活動」に協力、支援することで、ひいては、協力会会員の事業に貢献が可能となる相互発展を図ることを目的としています。の原点に改めて立ちかえり、変化に対応した活動を提案、行動をしてまいります。

〔2021年度 活動方針案〕

I コロナ禍、パルシステム協力は、活動の制約条件を克服しながら、関係各位皆様のご意見を取り入れながら、会員(取引先)、パルシステム連合会、会員生協(組合員)に貢献できる活動を行ってまいります。

II パルシステム生産者・消費者協議会とパルシステム協力は、双方の課題を確認、共有化するため、交流をとおしてお互いに伝え学び、相互の理解を深め、課題の解決をめざします。

1. オンラインを活用し、リアルでは実現し得なかった交流会(地域別・原料別等)を開催します。
2. 共通で取り組むべき課題の講演会については、可能な限り「共同開催」を追求します。

III 情報発信力を強化していきます。

1. 2020年度に立ち上げたパルシステム協力会公式サイトをブラッシュアップし、より分かりやすく、使いやすく改善を進めていきます。
2. 農林水産業・原料情報に貢献できるようなリンク先の情報等を、協力会公式サイトにてご案内します。

IV 商品管理・品質保証の充実に取り組みます。

1. パルシステム連合会品質保証部や生消協と連携して、「Withコロナ」、「ポスト(アフター)コロナ」も視野に入れ、会員の要望も考慮しつつ年2回の「品質管理学習会」を開催します。
2. 品質管理強化月間ポスターを作成、配布し活用いただきます。
3. 「HACCPリーダー養成講座」を、年1回開催しリーダー育成を支援します。

V 「商品展示会」、「リアル」と「オンライン」双方を考慮した、ハイブリッド型の提案を行います。

1. 2020年度、オンラインによる「商品展示会」等実施の経験を活かし、新たな商品展示会の形を検討します。
2. 商品展示会への生消協会員の参加も検討を進めていきます。

VI 物流課題解決に向けて取り組んでいきます。

1. パルシステム連合会物流部と連携し、物流に関する諸課題を解決に導くソリューション(セミナーやフォーラム、講演会等)を会員へ提供していきます。
2. 歳末物流強化月間ポスターを制作し、物流トラブル防止の啓蒙に努めます。

VII 「SDGs(持続可能な社会)」の取り組みを推進します。

1. パルシステム連合会商品開発本部と連携し「プラスチック削減プロジェクト」に積極的に取り組みます。またプロジェクトの運営もサポートしていきます。
2. パルシステム連合会環境活動推進室と連携し、協力会環境部会としてのSDGsの取り組みを「海岸クリーンアップ活動」以外でも強化していきます。
3. SDGsについての講演会(セミナー)を開催していきます。

VIII 組合員向け、「パルシステム商品学習会」、「工場見学」、「センターまつり」の充実・円滑運営を図ります。

1. オンラインを活用した「パルシステム商品学習会」、「工場見学」、「センターまつり(休止中)」を協力会会員、会員生協と共に企画や実施方法について、進化させます。
2. オンラインが比較的不得手な会員への情報提供を強化します。

第4号議案

2021年度(第32期)予算(案)承認の件

自 2021年 5月1日 ～ 至 2022年 4月30日 (単位:円)

勘定科目		2019年度実績額	2020年度実績額	2021年度予算額	増減額	備考
収入	年 会 費 収 入	36,633,333	36,499,300	18,250,000	△ 18,249,300	正会員・準会員・特別会員 ※特例半額徴収
	そ の 他 会 費 収 入	4,145,440	0	0	0	参加費追加徴収 総会・講演会・ 賀詞交歓会
	合 計	40,778,773	36,499,300	18,250,000	△ 18,249,300	
支出	委 託 費	3,960,000	3,960,000	3,960,000	0	事務局業務委託費
	通 信 費	506,733	5,372,698	2,331,000	△ 3,041,698	
	(カタログ発送費)	△ 128,227	84,655	66,000	△ 18,655	カタログ発送費実費徴収、カタログ データ転送費
	(郵 便 料 金)		390	25,000	24,610	
	(LAN及び分担費)	235,800	237,600	240,000	2,400	
	(その他通信費)	399,160	5,050,053	2,000,000	△ 3,050,053	HPメンテナンス費用、更新作業 サポート費用
	旅 費 交 通 費	41,980	0	0	0	事務局交通費
	会 議 費	433,621	218,020	200,000	△ 18,020	幹事会
	調 査 研 究 費	228,470	448,470	400,000	△ 48,470	コープ手帳購入他
	消 耗 品 費	468,216	79,336	100,000	20,664	
	渉 外 費	110,700	24,850	100,000	75,150	慶弔関係費・生花代
	事 務 所 負 担 費	392,400	396,000	400,000	4,000	半期ごとの支払い
	会 計 委 託 費	196,200	198,000	200,000	2,000	半期ごとの支払い
	部 会 費	2,696,845	2,573,781	3,650,000	1,076,219	
	(組合員交流部会費)	317,550	58,564	50,000	△ 8,564	商品展示会実行委員会運営
	(物 流 部 会 費)	930,902	612,854	900,000	287,146	研修会、セミナー、講演会、歳末 強化月間ポスター
	(品質管理部会費)	682,083	1,100,620	900,000	△ 200,620	研修会、学習会(年2回)、品質 管理強化月間ポスター、HACCP リーダー養成講座補助
	(環 境 部 会 費)	309,848	267,487	900,000	632,513	研修会、講演会、海岸クリーンアップ 活動
	(異業種交流部会費)	456,462	534,256	900,000	365,744	研修会、学習会、部会運営
	商 品 展 示 会 費	7,638,619	581,090	2,850,000	2,268,910	
	(会 員 生 協 補 助)	928,200	0	900,000	900,000	
	(出 展 会 員 補 助)	3,928,145	605,000	1,900,000	1,295,000	
	(展 示 会 保 険)	49,140	△ 36,502	30,000	66,502	
	(レポート発行作成費)	761,805	0	0	0	
	(備 品 作 成 費)	1,971,329	12,592	20,000	7,408	のほり・協力会エプロン追加、 クリーニング費用
	総 会 費	13,190,344	561,784	1,300,000	738,216	
	(会 場 費)	10,020,745	0	0	0	含む懇親会費
	(議案書作成費)	608,904	561,784	800,000	238,216	紙およびeBOOK制作
	(その他運営費)	2,560,695	0	500,000	500,000	講演料、交流会運営費、プログラム (次第)作成費他
	秋 の 講 演 会 費	7,380,724	4,156,400	3,500,000	△ 656,400	会場費、懇親会費等
	賀 詞 交 歓 会 費	3,637,000	0	3,500,000	3,500,000	
	雑 費	141,868	89,100	100,000	10,900	支払手数料、協賛金等
	予 備 費	600,000	5,080,000	5,000,000	△ 80,000	
	合 計	41,623,720	23,739,529	27,591,000	3,851,471	
事 業 剩 余 金		△ 844,947	12,759,771	△ 9,341,000	△ 22,100,771	
雑 収 入		387	420	400	△ 20	
当 期 剩 余 金		△ 844,560	12,760,191	△ 9,340,600	△ 22,100,791	
前 期 繰 越 金		13,866,833	13,022,273	25,782,464	12,760,191	
次 期 繰 越 金		13,022,273	25,782,464	16,441,864	△ 9,340,600	

第5号議案

会則一部改訂の件

①パルシステム協力会会則 【資料編】会費基準
②項・支払期日の変更。
※2021年度につきましては、会則9条・緊急事項に該当するため、2021年5月14日開催・第32期・第2回
幹事会にて報告、承認を得ました。
この改訂は、2021年7月6日から施行する。

パルシステム協力会 会則 新旧対照表

新条文	旧条文
【資料編】 会費基準 ②年会費の払込みは、毎年5月に請求し6月末までに払い 込むこととします。	【資料編】 会費基準 ②年会費の払込みは、毎年5月に請求し5月末までに払い 込むこととします。

第6号議案

役員改選の件

パルシステム協力会会則第3章第6条第2項、第3項の役員の推薦、改選にともない役員推薦を行います。

(敬称略)

係	会 員 名	役 職	氏 名
会長	北海道漁業協同組合連合会	代表理事 専務	安田 昌樹
副会長	株式会社井ゲタ竹内	常務取締役	竹内 周
事務局長	三菱食品株式会社	執行役員 ライフネット本部 本部長	江橋 邦夫
会計	株式会社井上食品	代表取締役 社長	井上 文喜
	酒井産業株式会社	取締役 相談役	酒井 久徳
商品展示・組合員交流部会 部会長	マルハニチロ株式会社	執行役員 業務用食品ユニット ユニット長	安田 大助
商品展示・組合員交流部会 副部会長	株式会社カジノヤ	専務取締役	梶 光則
物流部会 部会長	株式会社流通サービス	常務取締役	大葉 秀樹
物流部会 副部会長	国分首都圏株式会社	執行役員第二営業本部 本部長	南 博貴
	株式会社協和	常務取締役	畑山 哲也
品質管理部会 部会長	日本水産株式会社	執行役員 広域営業本部 本部長	松島 和浩
品質管理部会 副部会長	株式会社ニッキーフーズ	執行役員 商品開発部長	岡本 昭人
	水野食品株式会社	取締役社長	水野 茂
環境部会 部会長	SBSゼンツウ株式会社	取締役常務執行役員	村木 佳弘
環境部会 副部会長	共生食品株式会社	代表取締役社長	三澤 孝治
	JPホームサプライ株式会社	代表取締役社長	松浦 健之
異業種交流部会 部会長	株式会社タケイ	代表取締役社長	蒔田 雄二
異業種交流部会 副部会長	株式会社水宗園本舗	代表取締役社長	八木 誠
	平田産業有限会社	取締役副社長	平田 孝一
	株式会社みそ半	代表取締役会長	松永 忠徳
	有限会社宮醤油店	代表取締役	宮 敬一郎
	大洋香料株式会社	取締役営業本部長	長谷川 雅人
産直委員会 委員	平田産業有限会社	代表取締役社長	平田 繁實
相談役	株式会社協和	代表取締役	畑山 敏也

※会長、副会長、会計、事務局長、各部会担当は選挙終了後、幹事会で選任し報告いたします。

第31期 部会活動報告



商品展示・組合員交流部会



物流部会



品質管理部会



環境部会



異業種交流部会

商品展示・組合員交流部会・活動報告

(商品展示会実行委員会)

(敬称略)

メンバー		
部会長	安田 大助	マルハニチロ(株)
副部会長	梶 光則	(株)カジノヤ
部会員	東野 公彦	大洋香料(株)
	岡本 佳徳	SBS ゼンツウ(株)
	飯田 貴浩	
	小野寺 和明	共生食品(株)
	文平 永行	ケンコーマヨネーズ(株)
	島田 元気	国分首都圏(株)
	宮治 豊	JPホームサプライ(株)
	小野 章男	協同組合 JASMEQ
	味崎 拓郎	(株)高山 東京支店
	新蔵 英仁	(株)東京コールドチェーン
	松本 貴司	(株)パルシステム電力
	平田 耕一	(株)パルブレッド
	大滝 公華	
	中澤 郁光	ひかり味噌(株)
	篠原 雅則	ホクレン農業協同組合連合会
	板垣 秀典	マルハニチロ(株)
	竹田 省一	三菱食品(株)
	金子 明稚	
	宮 敬一郎	(有)宮醤油店
	花井 健太郎	(株)流通サービス
	久保 裕介	(株)ロジカル
オブザーバー	沼里 誠紀／勝倉 靖典	パルシステム福島
	廣井 利行	パルシステム茨城 栃木
	村上 哲彦／野沢 昌美	パルシステム群馬
	柴山 直毅／黒川 仁／佐藤 威	パルシステム埼玉
	小嶋 香織／金川 桂	パルシステム神奈川
	松井 隆史／熊谷 浩二	パルシステム千葉
	城所 由香利／山本 美加／小塚 絵美	パルシステム静岡
	中込 將太／甲田 浩一	パルシステム山梨
	眞保 清文	パルシステム新潟ときめき
	西田 隆／川村 健一／岩瀬 健二／ 大武 徹／酒井 真澄／玉田 直子／ 吉江 健一／北田 真／竹井 篤史／ 田端 伸行／高橋 英明／植村 幸子／ 高橋 拓海	パルシステム連合会

1.活動日誌

月日・場所	内 容
2021年4月21日(水) オンラインにて開催	2020年度第1回商品展示・組合員交流部会開催 ・商品展示会開催提出書類変更説明 ・2020年度開催展示会報告 ・2021年度開催概要報告 ・商品展示会全体意見交換 ＜会員生協8名、部会員4名、連合会3名。計15名参加＞

2.2020年度 商品展示会開催実績

開催形式	開催日	会員生協名	内容	参考資料	URL
おうちde商品 展示会	2月2回 (2/8～2/12)	パルシステム 群馬	企画回・2021年・2月2回～2月 4回企画。各企画回ごとに8～12 品選定し、別チラシ(特別内容)を 配布して、二次元コードを組合員 が読み取って商品ごとの情報を見 て、商品購入に役立ててもらう仕 組みです。同時に、ホームページに ても、別チラシにアクセス可能。 2月2回: 8商品・7社。(内*3社・ インタビュー取材動画あり)	2月2回・ チラシ	パルシステム協 力 会・ホームページにて ご覧いただけます。 https://pal- kyoryokukai.jp/
おうちde商品 展示会	2月3回 (2/15～2/19)	パルシステム 群馬	2月3回: 12商品・12社。(内*3 社・インタビュー取材動画あり)	2月3回・ 別チラシ	パルシステム協 力 会・ホームページにて ご覧いただけます。
おうちde商品 展示会	2月4回 (2/22～2/26)	パルシステム 群馬	2月4回: 12商品・12社。(内*3 社・インタビュー取材動画あり)	2月4回・ チラシ	パルシステム協 力 会・ホームページにて ご覧いただけます。
パルゆめつなごう展 (オンライン商品 展示会)	2021/ 2/27(土)	パルシステム 神奈川	・トークリレー、リモート交流、ふたつ の方式にて開催。約1,000名の 参加、視聴がありました。 ・海外産地(タイ・オーストラリア)、国 内産地・工場とのオンライン中継、 料理講習の動画、商品の比較実 験、メイク講習等、盛りだくさんの 内容でした。	事前配布 チラシ	パルシステム協力会・ ホームページにてご 覧いただけます。

3.まとめ 《2020年度活動報告》

新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度の商品展示会は大幅な方向転換を余儀なくされました。

各会員生協で予定していた対面による展示会はすべて中止となり、急きょオンラインに変更して開催できたのが群馬・神奈川のみです。ともに初めての試みで慣れない環境での運営となりましたが、みなさまの協力もあり無事に開催することができました。

【群馬】

2月2～4回の3週にわたり紙面（別チラシ）にて「おうちde商品展示会」を実施。商品ごとに二次元コードを載せ、組合員が読み取って情報を閲覧してもらう形式で開催しました。商品によっては生産者のインタビュー動画も作成し、商品のこだわりや思いを届けられるようにしました。該当商品の購入にポイント付与したほか、抽選でのプレゼント企画も実施しました。



2月3回・群馬おうちde商品展示会・別チラシ

【神奈川】

2月27日にトークリレーとリモート交流の2方式で開催。9社のメーカーに参加いただき1,000を超えるアクセス（視聴）がありました。

トークリレーでは各メーカーが、商品開発の背景やこだわり・おすすめレシピなどを案内し、組合員の商品理解を深めるような形式としました。

リモート交流では事前に試供品を配付し当日一緒に使用してみたり、製造工場や海外の原料産地と中継をつなぎ実際に対話したりと、オンラインのメリットを活かした交流を行いました。



2021年2月27日・パルシステム神奈川
パルゆめつなごう展(オンライン商品展示会)配付チラシ

4.今後の課題と展望

2020年度の経験を活かし新たな商品展示会の形を検討しております。

とくにオンラインについては、大きな可能性も感じており、会員生協の垣根を超えたパルシステムグループ全体で参加できるような取り組みや、リアルと組み合わせたハイブリット型の展示会も模索しております。また、協力会だけでなく生消協会員の参加も検討していきます。

最後になりますが、リアルでの商品展示会開催をみなが期待しております。組合員と直接対話できる機会が一日でもはやく訪れるよう願っております。

物流部会・活動報告

メンバー

(敬称略)

部会長	大葉 秀樹	(株)流通サービス
副部会長	南 博貴	国分首都圏(株)
	畑山 哲也	(株)協和
書記	花井 健太郎	(株)流通サービス
部会員	宇山 祐矢	(株)高商
	岡本 佳徳	SBSゼンツウ(株)
	飯田 貴浩	
	阿部 聡	(株)かがやくコスメ
	金子 郁史	協同水産流通(株)
	下青木 浩史	
	井出 恵一	(株)三協運輸サービス
	小山 実	スワ運輸(株)
	坂部 康洋	全農パールライス(株)
	佐々木 孝夫	(株)トクスイコーポレーション
	桑原 修	(株)パルライン
	清水 友徳	
	谷内 勉	マルハニチロ(株)
	久保 裕介	(株)ロジカル
オブザーバー	茂木 洋介	パルシステム連合会
	山岸 誠一郎	
	阿蘇 秀之	

1.活動日誌

月日・場所	内 容
2020年4月～5月	「不織布マスク」配布について ・初めての「緊急事態宣言」が発令され、「マスク」が品薄、流通しなくなり、大変な状況となりました。こうしたなか、緊急に、パルシステム協力会より、最前線で組合員（消費者）と接する物流会社7社に対しまして、70,000枚のマスク配布がありました。 ※詳細報告は、幹事会報告にもあります。
2020年6月15日（月） 第31期・第1回物流部会 （リモート会議）	第1回物流部会開催 ・冒頭、大葉部会長よりマスク配布について謝辞がありました。 ・2020年度物流部会活動について コロナ禍、オンラインでのセミナー（講演会）開催等、新しい取り組みを次回までに検討。歳末月間ポスターに、取り組むこととなりました。
2020年8月25日（火） 第31期・第2回物流部会 （リモート会議）	第2回物流部会開催 ・「歳末物流強化月間ポスター」コロナ禍における感染予防を呼びかける意味で写真やイラストにマスク着用などで訴えることとなりました。
2020年10月29日（木） 第31期・第3回物流部会 （リモート会議）	第3回物流部会開催 ・歳末物流強化月間ポスターは、10月初旬協力会会員、会員生協センター、パルシステム関連施設に向けて発送実施しました。（今年度の制作枚数は総計：1,897枚で前年度+7枚） ・「物流セミナー2021」については、オリパラ開催情報を見極めつつ、次回部会までに三役にて協議することとなりました。 ・物流部より、熊谷SC稼働状況、物量増対策等の報告がありました。
11/1～12/31 歳末物流強化月間	・歳末物流強化月間ポスター配付。 ・2020年11月～12月「歳末物流強化月間」ポスターを作成し協力会会員・会員生協・セットセンターへ配付しました。配付会員数323会員、会員生協センター61。1,897枚配付。（ポスター画像添付参照）
2020年12月1日（火） 第31期・第4回物流部会 （リモート会議）	第4回物流部会開催 ・「オンライン物流セミナー2021」について、2021年3月29日開催で決定。「Withコロナでのパルシステムの物流/今後の方針と具体的な施策」物流部・茂木部長で決定しました。
2021年1月18日（月） 第31期・第5回物流部会 （リモート会議）	第5回物流部会開催 ・「オンライン物流セミナー2021」について、SC施設の紹介もあわせ併せて行う方向で調整しました。 ・年末物量過多の状況報告、緊急事態宣言後の物量増加対応、年度内の商品政策、今後のSCキャパ問題等について、物流部・茂木部長より報告がありました。
2021年3月29日（月） 「物流セミナー2021」開催 講演者：パルシステム連合会 茂木 洋介 物流部長	「物流セミナー2021」開催 内容／1. パルシステムの物流（無店舗事業）商品発注からセンター納品までの流れ 2. パルシステムの物流の特徴と変遷 3. コロナ禍における受注急増への物流対応 4. オリンピック・パラリンピック対応 5. SDGs達成に向けた物流の取り組み ・パルシステムの物流の全体像、Withコロナ禍での対応、SDGsの取り組み等、画像、動画も入れ、わかりやすく説明がありました。
2021年3月29日（月） 第31期・第6回物流部会 （リモート会議）	第6回物流部会開催 ・当日開催「セミナー」について、部会員より非常にわかりやすい説明で好評でした。 ・「総会」に向け、臨時総会（書面議決）、21年度・年会費・半額、32回総会は、オンライン開催となる旨等、大葉部会長より説明がありました。



歳末強化月間ポスター



withコロナ たくさんさんのありがとう！ポスター

3.まとめ 《2020年度活動報告》

2020年度、物流部会は、「産直」と「環境」のパルシステムとして「選ぶで変わる『ほんもの実感！』くらしづくりアクション」を推進し活動を進めました。

しかし、新型コロナウイルス感染症のまん延により、部会活動を縮小せざるを得ない状況となりました。緊急事態宣言の発令や巣ごもり需要の影響を大きく受けて、物流現場は混乱を極めました。セットセンターをはじめ生活物流部門では物量増加の対応、メーカー・ベンダーでは商品調達などと、非常に苦労した年になりました。

しかしながら、組合員のくらしを支えるライフラインであるということを再認識できたことは、今後の生協事業伸長における重要なヒントとなりました。

部会活動としましては6回の部会開催をリモートで開催することができました。

また、例年同様ではありますが、歳末物流強化月間として物流事故ゼロ・納品事故ゼロを掲げて、コロナ禍という特異な状況のなか取り組むことができました。

2月に予定していた、物流部会セミナーについては新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、リモート開催をすることができました。物流セミナー2021として物流部茂木部長にパルシステムの物流についてわかりやすく講演いただきました。

4.今後の課題と展望

物流業界のみならず、社会全体でも未だ新型コロナウイルス感染症の猛威により、社会全体に大きな影響を及ぼし、経済活動に様々な影響が出ております。

まだまだ先行きは不透明な状況ではありますが、物流部会として、組合員に安心してご利用いただき、安心安全を表示のとおり適切にお届けするために、本年度も活動を強化してまいります。

品質管理部会・活動報告

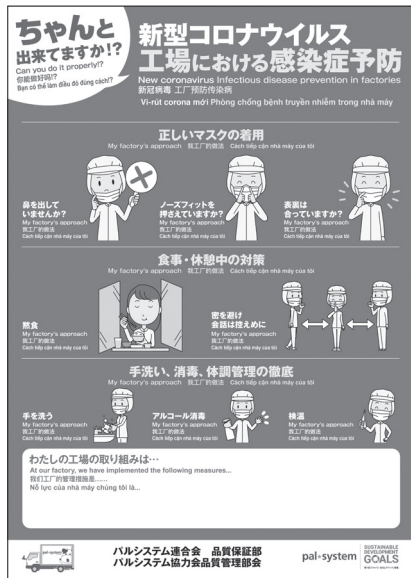
メンバー		
(敬称略)		
部会長	新藤 哲也	日本水産(株)
副部会長	岡本 昭人	(株)ニッキーフーズ
	水野 茂	水野食品(株)
書記	竹田 省一	三菱食品(株)
部会員	太田 祐次	アートプランニング(株)
	生井 拓	エム・シーシー食品(株)
	鈴木 忠義	(株)カジノヤ
	土谷 淳	(有)菊水堂
	小谷 正史	共生食品(株)
	吉田 忠美	(株)協和
	小野 章男	協同組合 JASMEQ
	宮下 富幸	シンコー食品(株)
	巻嶋 哲男	全農パールライス(株)
	西野入 英幸	
	長谷川 雅人	大洋香料(株)
	石原 隆弘	(株)タケイ
	萬井 誠	デイリーフーズ東京販売(株)
	末吉 太一	(株)東京コールドチェーン
	田中 紀年	(株)ニッキーフーズ
	岩本 亜希子	(株)ニチレイフーズ
	浅原 真	(株)にんべんフーズ
	田中 浩一	(株)浜食
	矢島 規雄	(株)パルブレッド
	宮原 雅仁	(株)パル・ミート
	菊池 祥一	(株)ファーストフーズ
	山野寺 健一	北海道漁業協同組合連合会
	鈴木 敬介	(株)ユニマットキャラバン
オブザーバー	山口 聡	日本水産(株)
	藤方 正浩	パルシステム連合会

1.活動日誌

月日・場所	内 容
2020年6月26日(金) 第31期・第1回品質管理部会 (リモート会議)	第31期第1回品質管理部会開催 ・2020年度品質管理部会活動について。 ・品質管理学習会/年2回(Webセミナー)開催を検討することを確認。 ・2020年度(7月～8月)品質管理強化月間ポスター「アレルギー管理強化ポスター」を全会員(取引先)向けに、2020年5月に配付。「新型コロナウイルス感染予防/手洗いポスター」を全会員(取引先)向けに、2020年6月に配付することを再度確認しました。 ・パルシステム連合会品質保証部報告。
2020年7/1～8/31 品質管理強化月間	品質管理強化月間(アレルギー管理強化/新型コロナ対策手洗い)ポスター配付しました。 ・2020年7月～8月ポスターを作成し会員へ配付しました。配付会員数270会員、約1,500枚。
2020年8月26日(水) 第31期・第2回品質管理部会 (リモート会議)	第2回品質管理部会開催 ・オンライン品質管理学習会開催について、2020年10月30日(金)、異物混入をテーマに開催することで決定しました。 ・品質保証部報告、コロナ禍により商品供給が大幅に増加していることもあり、商品事故件数も増加しているとの報告がありました。
2020年10月30日(金) 「2020年度第1回オンライン品質管理学習会」開催。 (オンライン・Zoom使用) 141名、参加アクセス。	2020年度第1回品質保証部・品質管理部会共催学習会開催 「異物混入」をテーマに、3名の講演がありました。 ・「簡易異物分析とアレルギー検査キットの活用と実際」 ビジョンバイオ株式会社 浜野 僚太氏 ・「異物混入事故削減に向けた取り組みについて」 パルシステム連合会 品質管理1課 林 雅也氏 ・「商品検査センターにおけるアレルギー検査の実施状況について」 パルシステム連合会 検査センター 副主任 辻田 麻由氏 ・「異物分析」、「工場点検ポイント」、「アレルギー検査」について詳しく説明があり、品質管理実務担当者の皆様には、非常に参考になったものと思います。学習会の内容は、協力会ホームページにて、アーカイブ動画がご覧いただけます。
2020年10月30日(金) 第31期・第3回品質管理部会 (リモート会議)	第3回品質管理部会開催 ・当日開催学習会について、参加部会員より、専門的でややむずかしかったが、実務者向けの学習会であったと高評価がありました。 ・品質保証部報告。商品事故件数(異物混入含む)増加傾向との報告、また、食品衛生法改正にともない「HACCPに沿った衛生管理」義務化アンケート実施報告等がありました。
2020年12月2日(水) 第31期・第4回品質管理部会 (リモート会議)	第4回品質管理部会開催 ・「2021年度品質管理強化月間ポスター」について、PJ担当:全農パールライス、制作担当:アートプランニング(株)、4月校正完了、6月発送を確認しました。 ・2021年3月26日(金)、今年度2回目学習会開催決定。テーマについては、今後品質保証部とも調整することとなりました。 ・協同組合JASMEQ主催、協力会後援「HACCP講習」については、例年どおり後援することとし、事務局にて調整することとなりました。

月日・場所	内 容
2021年1月27日（水） 第31期・第5回品質管理部会 （リモート会議）	第5回品質管理部会開催 ・「2021年度品質管理強化月間ポスター」は、スケジュールどおりの進行、作成の確認を行いました。内容は、「新型コロナウイルス感染症」対策をわかりやすく説明したものになる予定です。 ・「第2回品質管理学習会」開催について 【第一部】 演題：「選ぶ」で変わる食の未来 「ゲノム編集」規制と表示の実態。 講師：北海道大学 安全衛生本部教授 石井 哲也氏 【第二部】 バルシステムの品質保証部または検査センターより報告の予定。 一部、二部ともに、内容、スケジュール最終調整。 ・品質保証部報告 食品衛生法の改正にともない、原則すべての食品を取り扱う事業者は「HACCPに沿った衛生管理」が必要となります。「宅配におけるHACCPの考え方を取り入れた衛生管理」をバルシステムグループとして推進しますとの報告がありました。
2021年3月26日（金） 第31期・第6回品質管理部会 （リモート会議）	第6回品質管理部会開催 ・「2021年度品質管理強化月間ポスター」デザイン決定。 事前アンケート投票結果は、A案・11票、B案7票。協議の結果、すっきりして見やすいA案にて決定いたしました。6月～お届けを予定しています。 ※次ページ貼り付け画像参照ください。
2021年4月23日（金） 「2020年度第2回オンライン品質管理学習会」開催。 （オンライン・Zoom使用） 175名、参加アクセス。	2020年度第2回品質保証部・品質管理部会共催学習会開催 【第一部】 演題：『ゲノム編集食品の取り扱いについて～バルシステムとのパートナーシップに基づく産地・生産者・製造メーカーの今とるべき行動とは～』 講師：北海道大学 安全衛生本部教授 石井 哲也氏 【第二部】 演題：「品管目線で商品特徴を共有していくために」 講師：バルシステム連合会 品質管理1課 主任 今西 二郎氏 演題：「仕様情報の管理方法変更（エクセル廃止検討について）」 講師：バルシステム連合会 仕様書管理課 副主任 庄司 美郷氏 ・「ゲノム編集」の問題は、関心のあるテーマであったため、多くの参加者にご視聴いただきました。 「商品仕様書」、「商品特徴」の問題は、日々の業務と関連したテーマであり、取引先にとっては、非常に参考になりました。
2021年4月23日（金） 第31期・第7回品質管理部会 （リモート会議）	第7回品質管理部会開催 ・学習会の感想:ゲノムに向き合う、知るよい機会となった。学んでいきたい。 ・第32期（2021年度）品質管理部会 活動計画について 1. 品質管理強化月間ポスター制作/配付 2. 品質管理学習会/年2回開催 コロナ対応についても知っているようで知らない事が多い為、専門家に話をさせて頂く機会を設けることもよいのではないかと感じる。出来ていると思いがちな事に対し業種を超えた情報の共有（工場管理の見直し等）実施するのもよいのではといった意見がありました。

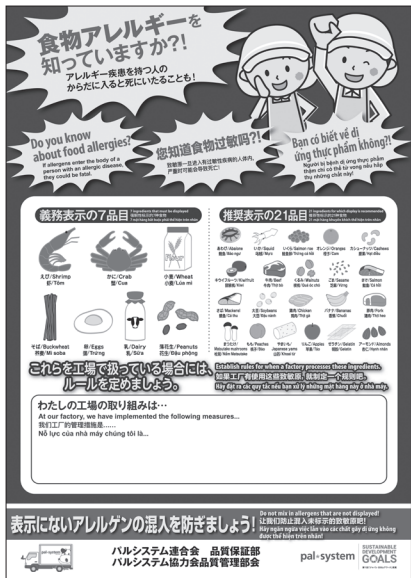
月日・場所	内 容
4月21日(水)～23日(金) オンラインHACCP・ 3日間講習開催 (オンラインにて開催)	HACCP3日間講習開催(主催:JASMEQ・後援:協力会品質管理部会)



2021年度
新型コロナウイルス感染予防ポスター



2020年度手洗いポスター



2020年度強化月間アレルギーポスター

2.2020年度活動報告

【概要】

- 1 「年6回の品質管理部会（＋インテグラー1回）」をリモート会議にて実施いたしました。
- 2 「上期・下期に各1回ずつの学習会」をWebセミナーで開催いたしました。
- 3 「上期・下期に各1回ずつの研修会」はコロナ禍のため中止となりました。
- 4 品質管理強化月間に合わせた品質管理啓蒙ポスターの作成をし配付いたしました。
- 5 協同組合JASMEQ主催のHACCP3日間講習会をオンラインにて開催いたしました。

今年度のおもな活動

1. オンライン品質管理学習会開催について

「2020年度第1回品質保証部・品質管理部会共催学習会オンライン開催が行なわれました。取引先87社、会員生協9社、計185名の参加。総じて専門的な内容ではありませんでしたが、実務担当者にとってはとても参考になったとの感想が寄せられました。

参加者意見・質問

- 異物検査を活かすための記録、管理、保管方法や具体的な分析手法がわかりやすく説明され、参考になりました。
- 組合員からの申し出件数に占める異物混入の割合の高さに、弊社でも細心の注意を払わねばと感じました。
- アレルギー検出の実例が示され非常にわかりやすかったです。命に関わる案件なので弊社でもしっかり取り組む必要があると思いました。
- 異物の簡易分析方法を具体的に知ることができた。異物を同定する手段として取り入れていきたい。
- 出荷に間に合わせるための製造順の変更や清掃不十分によるアレルギーの混入は他人事ではない。引き続き従業員のアレルギー教育を実施していく。
- 弊社では、異物分析を外部検査機関に委託しているため、内容が専門的過ぎました。
- 検査対象の種類、具体的な2019年度検出事例(さつま揚げ、パンケーキ、スパゲッティ)2020年度の検出事例(お菓子)、アレルギー管理の必要性、パルシステムの状況や考え方が確認できるよい機会となりました。具体的な事例発表は非常にわかりやすく参考になりました。
- 配布資料があるとわかりやすく参加できなかった従業員にも周知できるため可能な範囲での手元資料があるとよりよいかと思います。
- テーマではありませんが、Web学習会ですと普段製造現場から離れられない作業員も参加しやすく、社外の方のお話を聞く貴重な機会となるため、今後もWebでの開催があると非常によいと思います。
- 「プロダクトゾーン」の明確化、こちらは非常に参考になりました。すぐに取り組み可能なため、特に異物混入の多いメーカーなどに活用してまいります。
- 原料規格書の確認は、日々取り組んでおりますが、アレルギー対策として機械洗浄、製造順などは、今後特に注意が必要なることを強く感じました。
- とても勉強になりました。試薬によつての異物解析のやり方等、実際の動画を見ることができたので本当によかったです。
- 製造の工程での製造線を明確にするということは、初めて聞いた言葉だったので、これは弊社にも取り入れるか検討したいです。

2. 品質管理学習会について

【第一部】

演題：「ゲノム編集食品の取り扱いについて～パルシステムとのパートナーシップに基づく産地・生産者・製造メーカーの今とるべき行動とは～」

講師：北海道大学 安全衛生本部 教授 石井 哲也氏

【第二部】

〈パルシステム連合会品質保証部からの報告〉

- 1 「仕様情報の管理方法変更(エクセル廃止検討について)」
パルシステム連合会 品質保証部仕様書管理課 副主任 庄司 美郷氏
- 2 「品質目線で商品特徴を共有していくために」
パルシステム連合会 品質保証部品質管理1課 主任 今西 二郎氏

部会メンバーによる感想が挙げられました。消費者によるゲノム編集利用食品の受容における課題は①科学的理解②国や企業への信頼③リスクの認識④利益の認識⑤倫理観と多く、慎重な判断が必要とのことでした。今後も引き続き討論すべき課題となりました。

- 3 2021年度品質管理強化月間ポスター案の決定 6月配付予定。
- 4 32期活動方針案についての協議がなされました。
- 5 4月21日(水)～23日(金)HACCP3日間講習開催(オンラインにて)



石井 哲也教授

3. 今後の課題と展望

現在の社会を取り巻く環境のなかで(とくに昨今のコロナ禍)、品質管理活動は大変重要な役割を担っています。どのような業界においても提供する製品やサービスの品質を恒常的に守り、消費者のニーズにも応え、満足度をアップさせていくということが期待されています。社会貢献度も高く、会員の皆様の関心もとても高いのではないのでしょうか。しかしこのようななかで残念ながら2020年度の部会活動はコロナ禍の中で制限されてしまい、活動計画を多く実施する事ができませんでした。「Withコロナ パルシステム2030年ビジョン」のなかでも重要課題として「感染防止策徹底」「商品事故削減・防止対策」が挙げられており、当品質部会活動の活発化も期待されています。今年度は2020年の活動不実施も踏まえ、タイムリーなプログラムの実行を行います。しかしながら、具体的な活動計画については状況的に立案・実施も難しい事もあり、特に「研修会」は実施不可能と思われ、代わりの活動も立案するなどして臨機応変にせざるを得ませんが、継続的かつ確実に行ってまいります。なかでも多くの会員の皆様にご参加いただいている年2回開催の「品質学習会」は「Webセミナー」での開催予定ですが、内容を熟慮しご期待にお応えしたいと考えます。組合員の皆様からは、より安全・安心にと製品に対する関心もとても強くなっている昨今、品質管理は製造現場の最後の砦です。限られた部会活動ではございますが、会員の皆様のスキルや知識向上にお役に立てるよう貢献してまいりたいと存じます。

1. 品質保証部 2020年度活動報告

商品事故は2020年4月～2021年3月の申告件数で食品4,842件（前年差+175件、前年比103.7%）と昨年より増加しました。新型コロナ感染拡大に伴って宅配需要が高まり、パルシステムも商品利用が大きく伸長する中で、商品事故発生率は抑えられています。一方で、異物混入は全体よりも申告が増える傾向がみられました。生活用品は776件（前年差△61件、前年比92.7%）と、大きく事故を減らすことができ、初めて800件を下回りました。

(1) 新型コロナ感染拡大防止のため、当初計画より大きく控えたことで年間16工場の点検にとどまりました。商品事故の緊急対応や新規工場の製造確認など優先順位をつけて実施しました。製造工場調査票や帳票による確認の強化やお取引先と連携しての事故削減会議で、問題点や課題の共有を図って改善対策を進めました。HACCPの取り組みとして、PB製造工場へのアンケート実施や当会の板倉食品加工センター管理体制構築のサポートを実施しました。

(2) 商品特性やよくある事例などを掲載した商品お申し出事例集を作成し、会員生協での組合員対応に役立てもらうことで、お申し出や商品事故件数の抑制につながりました。

(3) 仕様書作成件数は、新型コロナの影響から新規商品開発が減少したため、前年の約8割程度となりました。食品表示法のPB原料原産地対応について、お取引先と計画的に進め約半数の表示案を確認終了しました。仕様書の電子化や遺伝子組換え表示制度への対応などを他部署とともに検討しました。

(4) 2020年度は、微生物検査6,060件、残留薬剤検査335件、放射能検査2,138件、食物アレルギー検査408件を実施しました。

(5) 新型コロナ感染拡大防止のため、組合員の商品検査センター見学受入れや夏休み親子実験教室は行いませんでした。オンライン企画での実施を検討し、会員生協主催企画を1回実施しました。次年度開催予定の夏休みオンライン親子実験教室について内容や運営方法を固めました。

(6) ペットフードについては大きな事故の発生があったことを受けて、当会商品管理本部、第2商品部でペットフード総点検タスクを設置し、仕様書の管理など運用強化を図りました。

2. 2021年度活動方針

「組合員の思いにこたえるパルシステムの品質保証」を着実にすすめます。

- ・パルシステムのPB商品について、仕様や品質の確認を強化します。
- ・組合員、会員生協、取引先、関連部署とのコミュニケーションを充実させ、パルシステムの品質保証の理解と更なる向上を図ります。

(1) 重大事故及びPB商品の計画的な工場点検を強化し、商品事故の抑制や工場の製造品質向上に向けた取り組みを進めます。

(2) お申し出にかかわるステークホルダーに「良質な体験の提供」をします。お申し出回答までの進捗共有や期間短縮、回答文章の向上、お取引先への連絡方法改善など進めます。

(3) 法令遵守および自主基準の適合を点検し、正確な仕様情報を掲載します。仕様書作成業務の電子化にむけてシステム構築を目指します。

(4) 商品の確かな品質を確認するため、各種検査を実施します(微生物検査6,000件、残留薬剤検査340件、放射能検査2,500件、食物アレルギー検査400件)。オンラインによる広報活動を実施します。

3. 2021年4月からの品質保証部体制について

品質保証部 …………… 藤方 正浩
品質管理1課 …………… 宮原 雅仁
(株式会社パル・ミートより出向)

品質管理2課 …………… 秋山 貴彦
仕様書管理課 …………… 相原 正和
商品検査センター ……… 寺田 豊

パルシステム協力会品質管理部会の協賛・支援をいただき実施しました「HACCPリーダー養成講座(3日間)」に、12社・組織17名の応募参加をいただきました。

昨年度は、コロナ禍緊急事態により、応募をいただきながら急遽中止せざるをえませんでした。

今回は、加藤光夫先生とも相談して、Webセミナーとして計画準備をさせていただきました。

また、「微生物管理」(中川弘講師)と「現場での取り組み事例」(小谷正史講師)とも、リハーサルをするなど、事前の準備をすすめての開催となり、そのこともあり、開催時期も例年より1カ月ほど先になりました。

協力会品質管理部会及びパルシステム連合会のご支援協賛をいただいた結果と、改めて感謝しますと同時に、「食品衛生法」改正に伴って、ますます必要性が増すことが考えられる研修会となり、今後も皆様の期待に応えられる内容にできるよう、責任講師の加藤光夫先生((株)フーズデザイン)とともども、努力してゆくつもりであります。以下に、実施内容を報告させていただきます。

また、本年度からは食品衛生法の改正により、これまで修了証で「総合衛生管理製造過程承認制度」への該当内容修了者で有ることの内容を、「食品衛生法施行規則別表17・別表18で求められる知識」の習得者と、修正させていただきました。

次年度(2022年)の開催については、修了アンケートにもありますが、「リアル参加」で得られる、受講者間の交流情報交換への期待もありますので、今後の状況を見ながら、協力会品質管理部会ともご相談させていただきます。

2021年 4月「HACCPリーダー養成講座(3日間)」 実施報告

- 1 実施日 2021年4月21日(水)、22日(木)、23日(金)

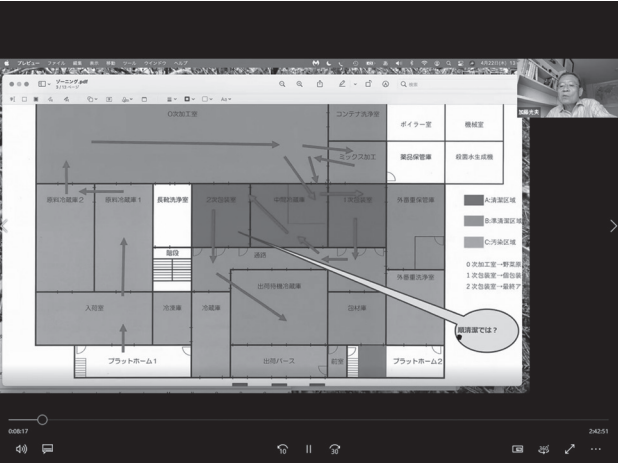
2 実施場所 Webセミナー

3 参加者内訳 (12社・組織 17名)
＜担当部門＞品質管理部門9名、製造・工場部門5名、商品・営業1名、役員2名
＜業 種＞飲料水製造2名、水産・肉加工製造8名、商社卸4名、 清酒・乾麺・食用油製造3名

4 講座内容

日程	時間	講義内容	講師等
第1日 4月21日(水) Webセミナー	13:00～15:55 ※40分～50分毎に 10分休憩	講義 (株)フーズデザイン資料「HACCP導入手順V21.0版」をもとに講義内、一般的衛生管理運営管理事例・HACCP取組事例動画	加藤 光夫講師
	16:00～17:00	演習 「理解内容確認レポート」「衛生区画動線図」「フローダイアグラム」作成➡翌日10時までに事務局まで提出	JASMEQ事務局

日程	時間	講義内容	講師等
第2日 4月22日（木） Webセミナー	13：00～13:20	前日レポートの質問に対する解説	加藤 光夫講師
	13：20～16:10 ※40分～50分毎に 10分休憩	講義 (株) フーズデザイン資料「HACCP導入手順V21. 0版」をもとに講義 HACCP12手順7原則の導入工場事例を紹介（動画あり）	
	16:20～17:00	演習 「フローダイアグラム（製造工程図）」「危害分析管理総括表」作成➡翌日10時までに事務局まで提出	JASMEQ事務局
第3日 4月23日（金） Webセミナー	13：00～13:15	前日レポートの質問に対する解説	加藤 光夫講師
	13:25～14：55	講義 「食品製造における微生物管理」	中川 弘講師
	15:05～16:05	講義 「食品工場の現場から レベルUP！HACCP活動」	小谷 正史講師
	16:05～16:30	受講者自己紹介	受講者 JASMEQ事務局
	16:30～17:00	演習 「危害分析管理総括表」「施設設備の衛生管理リスト」作成 ➡これまでの演習作成帳表を再確認して、4月27日（火）までに事務局まで提出。	



危害分布管理総括表



食品製造における「微生物管理」表紙

参加者意見・質問

「修了アンケート」集計より(一部項目略・同内容は整理しました)

Webの講習になりましたが、「リアル」と比較していかがでしたでしょうか。

参加しやすかった(10名)

躊躇した、またはご意見

- 工場で受講できたので、すぐに工場で確認ができたことがよかった。
- 移動の手間が不要でリアルよりハードルが低かった。講義も周りを気にしないでよいので集中できたように思う。残りの時間に普段の仕事ができるのはよかった。(同3名)
- 一方的に聞く形になったが、聴講場所を選ばなくてもよかったのは利点でした。
- 移動時間の利点は大きいですが、味気無さを感じた。個人的にはリアルでの講習会がのぞましい。
- 自社のサーバー環境が心配だったが、大過なく受講できた。
- 外出しての参加は、業務が滞る可能性もあるが、参加しやすかった。また、同業他社などとの交流意見交換ができることのメリットも多いと考えるので、検討が必要と思う。

研修の内容や進行等で気が付かれたことについてのご意見をお知らせください。

- 最初は宿題が多く感じたが、受講してすぐ取り組めたので自分の理解度がわかり、よい研修だと実感できた。
- 活用できる具体的な内容が多かった。PP資料が未配布なものの資料がほしい。
- 画面に顔を出してのコメント(自己紹介)があるのならば、先にアナウンスいただいた方がよい。
- 提出課題についての、受領連絡が不徹底だったので、連絡を徹底してほしい。
- スケジュールどおりの進行でよかった。
- 演習に対して講評をいただけたのは、理解を深めるのにより勉強になった。
- 講義中のホスト画面での、他の操作は控えてほしい。画面が見にくい箇所が何か所かあった。
- 話し方や方法について分かりにくい点の説明がほしかった(事務局:リアルだと個別対応ができた…)
- ほかの方との意見交換の時間があるとよいと感じた。最後にお顔を見ることができてよかった。
- リアルのときの「余談」のようなアドリブや、聞き手に「おっ!」と思わせるものがあってもよかったと思う。
- 画面移動、共有の範囲の変更の仕方は、もう少しスムーズにできると思う。
- リアルの人と人の交流、同じ時間同じ場所で過ごす経験の大切さを改めて感じさせられた。
- 演習の対象品等公開できる範囲が判断できず迷った。例題の製品では経験が少なく時間が足りないように思えた。
- 研修内容がとても実践的なものだったので、今後の活動に役立てたい。

<反省点>

事務局の技術的な不慣れさや、想定される事態への準備不足等があり、不都合な点も幾つか発生してしまいました。また、「リアル」に対する希望、期待についても「どのように取り入れてゆけるのか」は、次回以降の課題としてゆきたいと考えています。

以下「開催案内」と重複しますが、講師の先生方の紹介をさせていただきます。

■加藤 光夫 責任講師
(詳細は HP「フーズデザイン」<http://www.foodesign.net/> を参照してください)
1976年より 米国の食肉センター・食品工場・スーパーMなどの運営・管理システム・衛生管理手法「HACCP」を実習・研究し、日本に紹介。2000年国際HACCP同盟 認定リード・インストラクター、厚生労働省「食品衛生法改正」食品の営業規制(許可)検討会委員・兵庫県、東京都食品衛生認証制度委員
2016年度「パルシステム異物対策推進会議(タスク)」講師。パルシステム「HACCP推進タスク」講師として、子会社、PB製造工場等へ、HACCPの導入支援、維持向上を支援

■中川 弘 講師
東京顕微鏡院調査研究部長を経て、沖縄環境科学センター食品科学部長・(株)BMLフード・サイエンス常務取締役、その間厚生労働省各食中毒菌「検出方研究班委員」等を歴任。
文教大学講師、服部栄養専門学校講師、日本べんとう振興協会技術顧問、獣医学博士・臨床検査技師・ISO 22000審査員補・HACCP専門講師、パルシステム検査センター及び関連会社アドバイザー

■小谷 正史 講師
(株)共生食品品質管理室長。パルシステム「HACCP推進タスク」第一期参加。工場へのHACCP管理システムを中心になって導入構築され維持進展されてきました。

<事務局>

■監物 今朝雄氏
協同組合JASMEQ顧問・元パルシステム連合会品質管理部長。ISO22000審査員補

■中村 優氏
協同組合JASMEQ顧問・元(株)パル・ミート品質管理部長。雪印メグミルク企業倫理品質部会委員

■坂本 美春氏
協同組合JASMEQ職員

以上

環境部会・活動報告

メンバー

(敬称略)

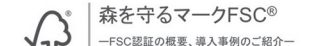
部会長	村木 佳弘	SBSゼンツウ(株)
副部会長	三澤 孝治	共生食品(株)
	十文字 清和	(株)十文字チキンカンパニー
書記	武井 康公	(有)清和商会
部会員	滝沢 優	エスケー石鹸(株)
	佐藤 英司	SBSゼンツウ(株)
	黒田 卓也	エム・シーシー食品(株)
	金子 郁史	協同水産流通(株)
	坂本 訓一	(株)協立
	松浦 健之	JPホームサプライ(株)
	渡邊 淳一	全国漁業協同組合連合会
	内山 洋	太陽油脂(株)
	鈴木 洋一	テーブルランド(株)
	田代 彰	(株)パシフィック・トレード・ジャパン
	吉村 祐介	花嫁わた(株)
	中村 慎吾	(株)パルシステム電力
	川崎 宏太郎	日野出(株)
	瀧波 憲二	北海道漁業協同組合連合会
	安藤 知子	丸紅食料(株)
	松永 泰裕	(株)みそ半
	渡辺 隆文	(株)YUIDEA
	池田 麗光	雪印メグミルク(株)
	山崎 健司	リスパック(株)
オブザーバー	野津 秀男	(株)パルシステム電力
	山野寺 健一	北海道漁業協同組合連合会
	西田 隆	パルシステム連合会
	植村 幸子	

1.活動日誌

月日・場所	内 容
2020年6月24日（水） 第31期・第1回環境部会 (リモート会議)	第31期・第1回環境部会 ・2020年度環境部会活動について、2020年3月に開催を予定していた環境部会講演会を、オンラインでの開催で検討しました。 ・「海岸クリーン活動」は、状況、時期をみながら開催を検討しました。
2020年9月3日（木） 第31期・第2回環境部会 (リモート会議)	第31期・第2回環境部会 ・環境部会講演会「FSCジャパン 活動のご紹介―市場開発を中心に―」「パルシステムの森林政策について～森の産直～」開催、オンラインにて今年度中、開催を決定しました。 ・プラスチック削減プロジェクトオンライン報告会」開催について、2021年1月開催で検討。
2020年10月23日（金） 第31期・第3回環境部会 (リモート会議)	第31期・第3回環境部会 ・2021年1月15日・パルシステム主催・環境部会協賛「オンライン プラスチック削減プロジェクト報告会」開催決定しました。
2020年11月24日（火） 第31期・第4回環境部会 (リモート会議)	第31期・第4回環境部会 ・「オンライン 環境部会講演会」、2021年2月18日開催決定。内容は、当初予定通りの内容にて確認。「FSCジャパン 活動のご紹介―市場開発を中心に―」「パルシステムの森林政策について～森の産直～」2名の方に、講演をお願いすることで決定しました。
2021年1月15日(金) 「第3回プラスチック削減プロジェクト報告会」開催。オンラインにて。 パルシステム連合会主催 協力会環境部会協賛	「プラスチック削減の取り組み」報告 ・共生食品（株）（豆腐類の再生原料使用の取り組み） ・協同水産流通（株）（プラスチック削減に向けた動き） ・パルシステム連合会 産直事業本部（産直青果のプラスチック使用状況と今後の削減について） ・JPホームサプライ（株）（PBキッチンペーパーエコの包材薄肉化） ・北村化学産業（株）（製品/包材紹介） ・ザ・バック（株）（製品/包材紹介） 「2021年度自主目標」発表 ・松山油脂（株）（シュリンク再生ブラ化） ・太陽油脂（株）（ボトル・詰替えの再生ブラ化） ・光海（株）（韓国のりの紙包材化） 「参加者感想」は、協力会会員よりは、プラ削減取り組みは、喫緊の課題として参考になったとの意見、また会員生協よりは、「プラスチック削減の取り組みを、もっと組合員(消費者)に知らせてほしい」等の意見がありました。
2021年1月15日(金) 第31期・第5回環境部会 (リモート会議)	第31期・第5回環境部会 ・当日開催「第3回プラスチック削減プロジェクト報告会」について、各社の報告は、オンライン説明手法、内容含め、非常に参考になったとの意見でした。 ・2月18日開催「オンライン 環境部会講演会」 村木部会長挨拶、武井書記・司会等、役割分担決定。

第3回プラスチック削減プロジェクト会議		パルシステム連合会 2021年1月15日(金)
第3回開催	パルシステム地方会 環境部会部長 村木 健弘	13:00～13:05
1.プラスチック削減 今後の取り組みについて	パルシステム連合会 環境部会部長 佐村 孝子	13:05～13:10
2.「プラスチック削減の取り組み」報告 <各社15分>		13:10～14:20
①共生食品 ②協同水産流通 ③パルシステム連合会 産直事業本部 ④北村化学産業 ⑤ザ・バック ⑥松山油脂 ⑦太陽油脂 ⑧光海		
3.2021年度自主目標発表 <各社15分>		14:20～14:30
①共生食品 ②協同水産流通 ③パルシステム連合会 産直事業本部 ④北村化学産業 ⑤ザ・バック ⑥松山油脂 ⑦太陽油脂 ⑧光海		
4.質疑応答 5分間		14:30～14:40
5.閉会挨拶 5分間		14:40～14:45
6.次回開催 5分間		14:45～14:50
7.閉会挨拶 5分間		14:50～14:55

1/15「第3回プラスチック削減プロジェクト報告会」のレジュメ

2/18開催「FSCジャパン活動のご紹介」表紙

月日・場所	内 容
2021年2月18日(木) 環境部会オンライン講演会	環境部会・オンライン講演会 【第一部】 「FSCジャパン 活動のご紹介―市場開発を中心に―」 FSCジャパン (NPO法人 日本森林管理協議会) マーケティング&広報担当 河野 絵美佳氏 【第二部】 「パルシステムの森林政策について～森の産直～」 パルシステム生活協同組合連合会 商品開発本部 第2商品部長 川村 健一氏 ・当日参加者は、会員(取引先)、会員生協含め、約200名でした。環境問題、SDGsに対する関心が高いことから、講演会終了後FSC河野氏に複数の質問が寄せられました。
2021年3月31日(水) 第31期・第6回環境部会 (リモート会議)	第31期・第6回環境部会 SDGs環境部会内部学習会 講師:植村 環境活動推進室長。 パルシステムの取り組みが、SDGsの目標とほぼ合致していた事実。コロナ禍、持続可能な社会をめざすSDGsの17の目標、161のターゲットは、ポストコロナを見据えても示唆にとんでいることを、参加者全員で実感しました。 ・「SDGsオンライン講演会」2021年5月日処。 協力会会員向けに講演会を開催予定です。講師は国連広報センター所長・根本かおる様の予定です。 ※十文字副部会長退任にともなう副部会長人事について（村木部会長）より報告があり、松浦副部会長(JPホームサプライ)に、お願いしたいとの報告がありました。

2.まとめ《2020年度活動報告》

2020年度の活動は、コロナウイルス感染予防対策の観点から、部会並びにプラスチック削減プロジェクトや講演会が残念ながらリモートでのオンライン開催となりましたが、パルシステムリレーショonzを始めとする皆様の多大なるご協力をいただき、盛大にイベントが開催できましたことに感謝申し上げます。

3.今後の課題と展望

2021年度もリモート開催中心が余儀なくされることと推測されますが、新たに部会としてSDGs（持続可能な社会）への取り組みも推進し、協力会全体に広めて行くべく尽力してまいります。
また、プラスチック削減をはじめ、パルシステム環境政策の課題別目標に微力ながら協力できるよう、様々な業態の環境部会員一同で取り組んでまいります。
本年度も業界を環境でリードするパルシステムグループに協力し、より一層の貢献を果たしてまいりたいと思います。

最後になりますが、部会の活動にあたりパルシステムグループをはじめ協力会各位にご尽力をいただき、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

パートナーシップでプラスチック削減 SDGs達成にも貢献

2021年3月3日
パルシステム生活協同組合連合会

パルシステム連合会とパルシステム協励会環境部会は1月15日(金)、東京・新宿区の東新宿本部にて、第3回プラスチック削減プロジェクト会議を開催しました。

パルシステム連合会は、2017年度からの3年間で「プラスチック排出総量削減」の取り組み(3カ年計画)を実施しました(※)。2019年5月には、製造、流通、物流など関係する事業者で構成するパルシステム協励会と連携し、「プラスチック削減プロジェクト」を発足。資源循環、持続可能な社会の実現に向け協同のパートナーシップのもと、さらなる削減を進めてきました。

(※)プラスチック包材の軽量化や材質の変更、リサイクル回収強化などを通じて、事業伸長を考慮した2019年度の排出総量を2016年度と同じ水準にとどめることを目標。



オンライン講習の様子



環境部会長を務める
村木 佳弘氏
(SBSゼンツウ(株))

今回はオンラインで開催し、取引先担当者、組合員、パルシステム関係者など約180名が参集しました。パルシステムの3カ年計画を振り返り、新たな目標を共有、取引先より削減の取り組みが報告されました。

開会にあたり協励会環境部会・村木佳弘部会長(SBSゼンツウ(株))は、「社会的に環境問題への関心が高まるにつれ、パルシステムがより注目されるようになったと感じています。今後も取引先のみなさんの努力の積み重ねが大きな力に変わっていくに違いありません。環境部会としてもいっそうの活動に努めていきます」とあいさつしました。

厳しい数値目標を設定し、事業・活動全般で総量削減

環境活動推進室・植村幸子室長は、パルシステム電力が昨年「令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰」を受賞したことに触れ「地球温暖化による災害の増加など、早急な対応が求められるなかでの社会的な評価」として、感謝を述べました。

プラスチック課題については「日本における1人当たり容器包装プラ廃棄量は年間約30kg(世界2位)であり、とくに発生抑制が重要です。2019年度は基準年(2016年)比で102.6%のプラスチック排出総量となりましたが、事業と商品利用の伸張をふまえると一定の成果を上げることができたと考えています。2017年からの3年間で120商品の包材を改良し、削減量は72.5t(見込値)になりました。今後は、対象範囲を商品容器包装のほか、物流や組合員活動も含めた事業・活動全般に広げ、2030年度の商品容器包材排出総量を2016年度の水準に抑える、厳しい目標を掲げます」と展望を語りました。



連合会環境活動推進室の
植村室長が推進目標を説明

パルシステム2030ビジョン <https://www.pal.or.jp/about/philosophy.html?via=palorjp-top#vision>
パルシステム連合会公式サイトより
きりかえる<環境> | 一人ひとりの暮らしを「きりかえ」、多様な命を育む環境を広げます。

各メーカーの商品包材削減の取り組みを共有

取引先を代表して5社より、容器包材削減の取り組みについて報告がありました。

- 1 共生食品(株) 「産直大豆のもめん豆腐」
<https://item.pal-system.co.jp/daily-foods/momen-tofu/>など(再生原料使用の取り組み)
- 2 協同水産流通(株) 魚加工商品など(プラスチック削減に向けた動き)
- 3 JPホームサプライ(株)「キッチンペーパーエコ」など(包材薄肉化)
- 4 北村化学産業(株) (製品/包材紹介)
- 5 ザ・パック(株) (製品/包材紹介)

また当会産直事業本部からも、産直青果のプラスチック使用状況と今後の削減について報告しました。

続いて3社より、「2021年度自主目標」について報告がありました。

- 1 松山油脂(株) やさしいうるおいシリーズなど
<https://item.pal-system.co.jp/cosmetics/yasashiiuruoi-lotion/>(シュリンク再生プラスチック化)
- 2 太陽油脂(株) (ボトル・詰替えの再生プラスチック化)
- 3 光海(株) (韓国のり包材を紙化)

なお、登壇した以外の取引先からも多くの自主目標が届けられています。

パートナーシップで実践的なプロジェクトに

参加者からは「プラスチックを使わない包材に期待していますが、まだまだ削減できるのでは。組合員にできることは何か」といった質問が上がり、農産物流通課の佐藤哲郎課長は「品質管理は徹底しつつ、トマト箱やイチゴの段ボール箱の回収率に協力いただきたい。プラスチック袋の削減については、実感できるレベルまで追求していきたい」と回答しました。

本会の感想として、反町幸代・商品委員長(パルシステム群馬理事長)は「ごみが少なくなるくらしの提案や、何か活動をしたいといった多くの声が組合員から届けられています。みなでいっしょに取り組めば」と話し、高野祐子・環境委員長(パルシステム福島理事長)からは「協励会、取引先のみなさんのご尽力には頭が下がる思いです。無駄にすることのないよう、努力を広げていきます」との謝辞がありました。

閉会にあたり商品開発本部・西田隆副本部長は「利用普及活動を含め、取り組みにかかわるみなさんに感謝しています。まさに『パートナーシップ』で実践的に進められており、2030年を視野に、チャレンジな目標に向かってぶれずにやり抜く決意です。プラ削減マークの付いた商品の利用普及を図るほか、SDGsの達成に向けてともに歩みたい」と期待を込めました。

プラスチック削減の取り組み <https://information.pal-system.co.jp/environment/190520-plastic/>
「プラスチック削減プロジェクト」が設立会議を開催 持続可能性の追求へ——メーカー、流通、生協がひとつに | 2019年5月20日

異業種交流部会・活動報告

メンバー

(敬称略)

部会長	蒔田 雄二	(株) タケイ		
副部会長	平田 孝一	平田産業(有)	八木 誠	(株) 水宗園本舗
書記	渡辺 浩子	(株) タケイ	浅見 あり沙	(株) タケイ
部会員	景浦 香澄	アズマ工業(株)	小野 章男	協同組合 JASMEQ
	安間 大起	(株) 安間産業	藤井 崇	(株) スクロール
	岡本 佳徳	SBSゼンツウ(株)	東野 公彦	大洋香料(株)
	木村 務	奥本製粉(株)	今 圭介	千倉水産加工販売(株)
	丸山 澄華	(株) かがやくコスメ	五味川 正裕	(株) 兆星
	高橋 哲也	(株) 風見	新蔵 英仁	(株) 東京コールドチェーン
	梶 光則	(株) カジノヤ	鈴木 雅之	トーエー食品(株)
	清水 美香	(有) カワグチ企画	中村 利昭	(株) 中村商店
	北舘 大輔	(株) 北舘製麺	真野 晃誠	(株) にんべんフーズ
	小野寺 和明	共生食品(株)	水田 亮子	(株) パシフィック・トレード・ジャパン
	安島 賢	(株) くらし企画	松本 貴司	(株) パルシステム電力
	古川 雅也	(株) コジット	田代 己津雄	(株) 丸藤
	酒井 幹治	酒井産業(株)	田村 将史	丸和油脂(株)
	山西 宏史	(株) 彩生舎	森本 哲也	(株) みそ半
	鈴木 友梨	サンスター(株)	花井 健太郎	(株) 流通サービス
オブザーバー	宮治 豊	JPホームサプライ(株)	伊藤 大輔	(株) ジャパンビューティプロダクツ
	中村 竜也	平田産業(有)		
	山口 裕市	(株) 水宗園本舗		
	川村 健一	パルシステム連合会		

1.活動日誌

※部会内に協力会ホームページ・ワーキンググループ(以下略称HPW構成員10社・12名)を発足させました。

月日・場所	内 容
2020年6月9日(火) 第1回・HPW会議開催 (リモート会議)	第1回・HPW会議開催 ・協力会・全会員向けに事前アンケートを実施することを決定しました。
2020年6月17日(水) 第31期・第1回異業種交流部会 開催(リモート会議)	第1回異業種交流部会開催 ・会員生協との取り組み・活動交流については、7～8月に、会員生協訪問のうえ、下期に向けての検討実施予定。
2020年7月3日(金) 第2回・HPW会議開催 (リモート会議)	第31期・第3回環境部会 第2回・HPW会議開催 ・ホームページの目的について、会員生協と会員(取引先)向け(会員同士のつながり、会員生協とのつながり)であることを伝える。 ・アンケートについて、HP開設の主旨・内容をお伝えし、ご賛同いただけますか?という内容とすることを決定しました。
2020年7月16日(木) 第31期・第2回異業種交流部会 開催(リモート会議)	第2回異業種交流部会研修会開催 ・部会内プレゼン(事業・商品紹介) カワグチ企画、パシフィックトレーディング2社実施。全国名品紹介、タイホームトンバナナ紹介は、参考になりました。
2020年8月7日(金) 第3回HPW会議開催 (リモート会議)	第3回・HPW会議開催 ・HPアンケート案、8月中にアンケート配布確認。
2020年9月11日(金) 第4回HPW会議開催 (リモート会議)	第4回・HPW会議開催 ・アンケート集約報告(事務局より) 多くの方よりご賛同いただけている／HPに期待されている方が多い／ビジネスマッチングへの意見が目立つ／展示会・学習会への活用が一番期待されている印象／学習会の申し込み含め、資料のアップや事前学習動画アップなどできたらよい／30秒～1分程度の短い動画をのせて商品PRなどできたらよい。(“今月のピックアップ企業”など、1週間や1カ月ごとに掲載動画を入れ替えていけば、会員生協・組合員にも興味をもって見てもらえアピールできるのでは)
2020年9月24日(木) 第31期・第3回異業種交流部会 開催(リモート会議)	第3回異業種交流部会開催 ・10月9日開催「オンライン商品学習会ガイダンス」の案内。 ・第4回・HPW会議報告。 アンケートも考慮のうえ、取り上げるコンテンツ検討。
2020年10月2日(金) 第5回HPW会議開催 (リモート会議)	第5回・HPW会議開催 ・HP制作の具体的な作業は、パルシステムリレーションズと事務局にて進め、適宜WGメンバーへメールで報告・配信。 ・どんなコンテンツを掲載するか、コンテンツリスト起こしから作業開始を確認。
2020年11月6日(金) 第6回HPW会議開催 (リモート会議)	第6回・HPW会議開催 「協力会webサイト／コンテンツおよびワイヤーフレーム(概要)」提案について(パルシステムリレーションズ) ・会員紹介ページ項目について協議。業種ではなく、商品分類で／紹介ページの情報量は、バランス制限する／入稿シートフォーマットを作成し提案する。
2020年11月26日(木) 第31期・第4回異業種交流部会 開催(リモート会議)	第4回異業種交流部会開催 ・HP作業進捗状況報告。 ・第31期異業種交流部会 オンライン講演会開催について、事務局より提案。次回までに、内容について、部会員よりアンケート実施。

異業種交流部会	
月日・場所	内 容
2020年12月4日（金） 第7回HPW会議開催 （リモート会議）	第7回・HPW会議開催 ・会員情報入稿シートについて、12月25日に共有予定。 ・トップページ・デザインについて、グループの意見を確認。人が集まっているイメージの意見。
2021年1月8日（金） 第8回HPW会議開催 （リモート会議）	第8回・HPW会議開催 ・トップのページデザイン、協会のロゴについて、パルシステムリレーションズより説明。 すぐくさわやかでかわいらしい／シンプルでパルシステムらしい／手作り感がありナチュラルな感じ／ロゴはA（ハート型）がよいという意見多数。あたたかさ・つながりが表現されているなど。
2021年1月28日（木） 第31期・第5回異業種交流部会 開催（リモート会議）	第5回異業種交流部会開催 ・部会内プレゼン。 にんべんフーズ／JPホームサプライコラボ学習会、リサイクルペーパーの報告がありました。 ・HP会員紹介ページ、2月末までに集約予定。 3／1～3／10に、テストデータを仮アップの予定。 ・2／16異業種交流部会オンラインセミナー（内部セミナー）開催について確認。
2021年2月5日（金） 第9回HPW会議開催 （リモート会議）	第9回・HPW会議開催 3月初めにホームページ仮アップ。文章・画像等、みなさんからの意見をお聞きたい。
2021年2月16日（火） 「2020年度異業種交流部会 セミナー」開催 （オンラインにて）	「2020年度異業種交流部会セミナー」開催 ・演題：「コロナ禍でも売れる営業・セールスの仕組み」 講師：佐藤 昌弘（さとう まさひろ）氏 営業における、「探る」行為から「合意」の行為が重要として具体的な事例・書式をもって講演をいただきました。
2021年3月5日（金） 第10回HPW会議開催 （リモート会議）	第10回・HPW会議開催 今後の、HPの運営に当たって、 ・案内（掲載）する画像の枠組み。 ・メンテナンスの方法、頻度、費用、などについて、事務局と編集室にて確認を要請。
2021年3月24日（水） 第31期・第6回異業種交流部会 開催（リモート会議）	第6回異業種交流部会開催 ・部会内プレゼン。SBSゼンツウ／流通サービス・2社にて実施。 ・来期に向けて、異業種交流部会でこんな活動をしたいなど要望をお聞きしながら準備していきたい。（アンケート配信の予定）
2021年4月2日（金） 第11回HPW会議開催 （リモート会議）	第11回・HPW会議開催 フリーワード検索を外した理由。 ・HPを活用する方は、ピンポイントで会社名などを検索するのではなく、業種や地域でどんな企業があるか閲覧するという認識です。フリーワードでの検索は、検索ワードの登録などコストの問題もあります。運用していく中で必要性が出てきたら追加修正していきたいと思います。50音検索を入れると検索ページの幅が広がってしまい、特にスマートフォンの画面では見づらくなってしまふ。プルダウンで「あ～お」など選択できる機能については、最近のスマホユーザー動向として、できるだけ動きを少なくした簡単な操作が好まれているため、使い勝手を考えると入れない方がよいと考えています。

異業種交流部会

Seminar materials for problem solving skills

株式会社 マーケティング・トルネード

Seminar materials for Sales
© Copyright Marketingtornado, Inc.
All rights reserved. No reproduction without written permission.

「2020年度異業種交流部会オンラインセミナー」表紙

講師プロフィール ①

2021.01月現在

株式会社マーケティング・トルネード 代表取締役
経営コンサルタント・講演家・作家

佐藤 昌弘（さとう まさひろ）
■ 京都大学経営管理大学院（MBA等） 講演講師（1回）
■ 岐阜大学大学院 元非常勤講師
■ 株式会社株帝国デューパン・契約コンサルタント

主なコンサルティング・社員研修の実績

関西電力株式会社	タマホーム株式会社	株式会社ネクステージ
富国生命保険相互会社	センチュリー21 ジャパン	キューサイ株式会社
J A しまね	（株）ホームプロ	株式会社e-book off
社学園調理・製菓専門学校	NEPIA香港（日本人：王子朝祐）	マルマン（株）
（株）廣川	財団法人 名古屋市みどりの協会	ハンファQセルズジャパン株式会社

ほか、大手ハウスメーカー、通販会社、市民病院、医療機関（美容皮膚科・脳神経外科・歯科など）、人材派遣会社、産業機械メーカー、流通業など、月商数万円の個人事業主から上場企業まで
6,000件以上の相談案件 に関与。

© Copyright Marketingtornado, Inc. All rights reserved. No reproduction without written permission.

3

オンラインセミナー・講師プロフィール

2.まとめ《2020年度活動報告》

コロナ情勢の中で、2019年度に目標とした交流活動については、具体化ができない環境でした。その中でも、

- 1 オンラインを活用し、定期的な部会・各会員各社のプレゼンを実施し、会員相互の親交が進みました。
- 2 パルシステム協会公式サイト作成に伴うワーキングチームを発足し、目標の期日と内容を作成アップする事ができました。
- 3 部会における外部講師をお招きし、コロナ情勢の中での営業スキル等、実践的且つ2ウェイでの講習会を開催できました。

3.2021年度活動方針

- 1 変化する環境・情勢を踏まえた、各会員より活動の希望を募りながら、継続して各会員各社でのプレゼン・交流・講習会をオンライン活用し実施致します。
- 2 2021年度での生消協様等のオンライン交流・コラボ活動のお手伝いについて検討・模索を進めてまいります。

4.最後に

2020年度厳しい情勢の中で、会員各位の皆さまの異業種交流部会への参画・活動にご参加・ご尽力頂き感謝申し上げます。

45

協力会・会員名簿

2021年5月1日現在

正会員			
1	株式会社アイケイ	41	有限会社カネモ
2	愛知園芸株式会社	42	株式会社カラミノフーズ
3	アイメディア株式会社	43	株式会社ガルト
4	青森県農村工業農業協同組合連合会	44	有限会社カワグチ企画
5	秋本食品株式会社	45	株式会社カワタキコーポレーション
6	有限会社アグリサポートシステム	46	株式会社河村屋
7	アサヒグループ食品株式会社	47	株式会社神沢川酒造場
8	麻布タカノ株式会社	48	有限会社菊水堂
9	アスザックフーズ株式会社	49	私市醸造株式会社
10	アズマ工業株式会社	50	株式会社北尾化粧品部
11	株式会社アトラスネットワーク	51	キッコーマン飲料株式会社
12	株式会社安間産業	52	株式会社木村食品工業
13	株式会社井ゲタ竹内	53	有限会社共食
14	有限会社和泉屋	54	共生食品株式会社
15	いなば食品株式会社	55	株式会社協同企画
16	株式会社井上食品	56	協同水産流通株式会社
17	茨城乳業株式会社	57	協同乳業株式会社
18	茨木海苔株式会社	58	株式会社協立
19	有限会社内池平蔵商店	59	株式会社協和
20	エア・ウォーター炭酸株式会社	60	株式会社ぎょれん北光
21	株式会社エーアンドティー	61	窪田味噌醤油株式会社
22	エスケー石鹸株式会社	62	クラウンフーズ株式会社
23	SBSゼンツウ株式会社	63	株式会社くらし企画
24	越後ふとん株式会社	64	株式会社グリーンピア
25	エム・シーシー食品株式会社	65	グリーンリーフ株式会社
26	株式会社エムシーサービス	66	ケンコーマヨネーズ株式会社
27	株式会社エリックス	67	興真乳業株式会社
28	大石産業株式会社	68	株式会社コーベヤ
29	株式会社おがた蒲鉾	69	コーミ株式会社
30	小川産業株式会社	70	国分首都圏株式会社
31	株式会社沖縄物産企業連合	71	国分フードクリエイト株式会社
32	奥本製粉株式会社	72	有限会社コクヨー
33	株式会社オフィス・バイ	73	株式会社コジット
34	株式会社オリエンタルフーズ	74	株式会社コム計画室
35	株式会社オルター・トレード・ジャパン	75	コモライフ株式会社
36	株式会社かがやくコスメ	76	株式会社西昆
37	株式会社風見	77	株式会社彩生舎
38	株式会社カジノヤ	78	酒井産業株式会社
39	金砂郷食品株式会社	79	ささかみ農業協同組合
40	株式会社金庄	80	さとの雪食品株式会社

正会員			
81	株式会社三協運輸サービス	125	株式会社タケイ
82	株式会社サンコー	126	田辺商事株式会社
83	サンスター株式会社	127	千葉県漁業協同組合連合会
84	三陽物産株式会社	128	株式会社兆星
85	株式会社シーサット	129	長龍酒造株式会社
86	株式会社JAしみずサービス	130	株式会社つきじ深村
87	JPホームサプライ株式会社	131	デイリーフーズ東京販売株式会社
88	協同組合JASMEQ	132	テーブルランド株式会社
89	株式会社ジャパンビューティプロダクツ	133	株式会社テロワール・アンド・トラディション・ジャパン
90	株式会社十文字チキンカンパニー	134	株式会社トウ・キューピー
91	正栄食品工業株式会社	135	東京高速印刷株式会社
92	昭和電工ガスプロダクツ株式会社	136	株式会社東京コールドチェーン
93	シンコー食品株式会社	137	トーエー食品株式会社
94	株式会社新藤	138	トータス株式会社
95	株式会社水宗園本舗	139	株式会社トクスイコーポレーション
96	株式会社スクロール	140	株式会社戸田酒販
97	株式会社スマイル	141	トップ産業株式会社
98	株式会社酢屋茂	142	有限会社砥用食品
99	スワ運輸株式会社	143	株式会社トライエックス
100	有限会社生活アートクラブ	144	長崎県漁業協同組合連合会
101	株式会社セイトウ	145	長野県農協直販株式会社
102	西武酪農乳業株式会社	146	長野森林組合
103	有限会社清和商会	147	株式会社中村商店
104	全国漁業協同組合連合会	148	株式会社ナシオ
105	全国農協食品株式会社	149	株式会社ナックス
106	全国海苔貝類漁業協同組合連合会	150	成田食品株式会社
107	全農パールライス株式会社	151	株式会社南部フーズ
108	株式会社全農ライフサポート山形	152	21世紀コーヒー株式会社
109	全酪フーズ株式会社	153	株式会社ニチレイフレッシュ
110	株式会社創健社	154	株式会社ニッキーフーズ
111	第一セントラル設備株式会社	155	株式会社ニッコー
112	太子食品工業株式会社	156	日東富士製粉株式会社
113	大成印刷株式会社	157	株式会社日本アクセス
114	大山乳業農業協同組合	158	日本水産株式会社
115	大都魚類株式会社	159	日本ハム株式会社
116	タイハイ株式会社	160	日本オリゴ株式会社
117	大洋香料株式会社	161	日本食研株式会社
118	太陽油脂株式会社	162	株式会社仁徳
119	有限会社タカショウ	163	株式会社にんべんフーズ
120	株式会社高商	164	花嫁わた株式会社
121	高橋ソース株式会社	165	株式会社浜食
122	株式会社高橋徳治商店	166	株式会社パルシステム・リレーションズ
123	株式会社高山	167	株式会社パルシステム電力
124	株式会社匠集団そら	168	榛名直販株式会社

正会員			
169	株式会社パルブレット	202	株式会社丸藤
170	株式会社パル・ミート	203	丸紅食料株式会社
171	株式会社パルライン	204	丸和食品株式会社
172	東銀座印刷出版株式会社	205	丸和油脂株式会社
173	東日本産業株式会社	206	みえぎょれん販売株式会社
174	ひかり味噌株式会社	207	三重県漁業協同組合連合会
175	株式会社常陸屋本舗	208	水野食品株式会社
176	株式会社ピックルスコポーレーション	209	美勢商事株式会社
177	株式会社平井	210	株式会社みそ半
178	平田産業有限会社	211	三菱食品株式会社
179	株式会社ファーストフーズ	212	南伊豆水産株式会社
180	ファミリー・サービス エイコー株式会社	213	有限会社宮醤油店
181	株式会社ふくれん	214	明星食品株式会社
182	富士山の銘水株式会社	215	柳原出版株式会社
183	株式会社藤文	216	株式会社ヤマキ
184	株式会社ふじや食品	217	ヤマキ株式会社
185	株式会社不動化学	218	有限会社山五
186	プリマハム株式会社	219	有限会社やまこみそ
187	株式会社ベニレイ	220	山印醸造株式会社
188	ボーソー油脂株式会社	221	有限会社山田養蜂場
189	株式会社ポールスタア	222	山菱水産株式会社
190	ホクレン農業協同組合連合会	223	株式会社山星屋
191	北海道漁業協同組合連合会	224	山屋食品株式会社
192	北海道チクレン農業協同組合連合会	225	株式会社YUIDEA
193	株式会社ホンダ水産	226	雪印メグミルク株式会社
194	有限会社ますだ	227	有限会社雪和商事
195	松岡水産株式会社	228	株式会社ユニマットキャラバン
196	松山油脂株式会社	229	有限会社ライフ・アート
197	株式会社丸井スズキ	230	有限会社ランカスター
198	丸久味噌株式会社	231	株式会社リアス
199	株式会社丸新商会	232	株式会社流通サービス
200	株式会社マルダイ長沼	233	株式会社ロジカル
201	マルハニチロ株式会社		

準会員			
1	アートプランニング株式会社	6	株式会社阿波市場
2	有限会社アキヤマ食品	7	イートアンド株式会社
3	株式会社浅野屋	8	伊丹産業株式会社
4	株式会社アジテック・ファインフーズ	9	伊藤製パン株式会社
5	味の素冷凍食品株式会社	10	伊藤ハムミート販売東株式会社

準会員			
11	井村屋株式会社	46	株式会社東映エージエンシー
12	魚津漁業協同組合	47	東京海上日動火災保険株式会社
13	株式会社栄喜堂	48	戸田酒造株式会社
14	小川珈琲株式会社	49	富栄海運有限会社唐津営業所シーボーン昭徳
15	音更町農業協同組合	50	株式会社ニチレイフーズ
16	カゴメ株式会社	51	日東ベスト株式会社
17	有限会社かね久海産	52	株式会社パシフィック・トレード・ジャパン
18	金子産業株式会社	53	ハチ食品株式会社
19	兼松株式会社	54	株式会社パネックス
20	株式会社鎌倉ハムクラウン商会	55	株式会社浜甚
21	株式会社川喜	56	濱田酒造株式会社
22	関東日本フード株式会社	57	株式会社HAL GREEN
23	株式会社北館製麺	58	株式会社パルふれあいサービス
24	木徳神糧株式会社	59	阪神低温株式会社
25	株式会社木村屋総本店	60	株式会社ピーコック
26	クレードル食品株式会社	61	日野出株式会社
27	コアレックス信栄株式会社	62	株式会社フーズプランナー
28	光海株式会社	63	株式会社フーディーネットジャパン
29	ゴールドバック株式会社	64	福島エーアンドエープロイラー株式会社
30	株式会社小善本店	65	不二製油株式会社
31	株式会社コモ	66	フジパン株式会社
32	佐井村漁業協同組合	67	プライフーズ株式会社
33	サトウ食品株式会社	68	マスコー製紙株式会社
34	JA全農ミートフーズ株式会社東部直販課	69	株式会社マルハニチロリテールサービス
35	JA全農ミートフーズ株式会社東部直販課 加工品	70	三井住友海上火災保険株式会社
36	四国日清食品株式会社	71	明神水産株式会社
37	信越明星株式会社	72	矢崎紙工株式会社
38	信州ハム株式会社	73	有限会社山田商店
39	全農チキンフーズ株式会社	74	大和産業株式会社
40	第一糖業株式会社	75	株式会社山安
41	たいまつ食品株式会社	76	株式会社ゆう屋
42	株式会社タカキベーカリー	77	横山製粉株式会社
43	有限会社高千穂漢方研究所	78	株式会社吉野家
44	千倉水産加工販売株式会社	79	リスパック株式会社
45	テーブルマーク株式会社		

特別会員			
1	生活協同組合バルシステム東京	6	生活協同組合バルシステム山梨
2	生活協同組合バルシステム神奈川ゆめコープ	7	生活協同組合バルシステム群馬
3	生活協同組合バルシステム千葉	8	生活協同組合バルシステム福島
4	生活協同組合バルシステム埼玉	9	生活協同組合バルシステム静岡
5	生活協同組合バルシステム茨城 栃木	10	生活協同組合バルシステム新潟ときめき

パルシステム協力会を窓口とする2020年度
 学習会開催実績

※2020年度工場見学・センターまつりの開催はありませんでした

会員名	種 別	東京	神奈川	千葉	埼玉	茨城 栃木	山梨	群馬	福島	静岡	新潟	小計	合計
株式会社 井ゲタ竹内	オンライン学習会		1									1	1
	リアル学習会											0	
伊藤忠食糧 株式会社	オンライン学習会		1									1	1
	リアル学習会											0	
エム・シーシー食品 株式会社	オンライン学習会		1									1	1
	リアル学習会											0	
株式会社 かがやくコスメ	オンライン学習会						1					1	1
	リアル学習会											0	
株式会社 風見	オンライン学習会											0	1
	リアル学習会				1							1	
共生食品 株式会社	オンライン学習会						1					1	1
	リアル学習会											0	
株式会社 コジット	オンライン学習会						1					1	1
	リアル学習会											0	
株式会社 彩生舎	オンライン学習会											0	1
	リアル学習会	1										1	
株式会社 ジーピーエス	オンライン学習会				1		1					2	2
	リアル学習会											0	
株式会社 ジャパンビューティプロダクツ	オンライン学習会			2			1		1			4	4
	リアル学習会											0	
株式会社 水宗園本舗	オンライン学習会							1				1	1
	リアル学習会											0	
全国農協食品 株式会社	オンライン学習会											0	1
	リアル学習会	1										1	
太陽油脂 株式会社	オンライン学習会					1	1					2	3
	リアル学習会		1									1	
千葉県漁業協同組合連合会	オンライン学習会		1									1	1
	リアル学習会											0	
トーエー食品 株式会社	オンライン学習会			1								1	1
	リアル学習会											0	
株式会社 東京コールドチェーン	オンライン学習会			1								1	1
	リアル学習会											0	
株式会社 中村商店	オンライン学習会	1										1	1
	リアル学習会											0	
株式会社 にんべんフーズ	オンライン学習会		1									1	1
	リアル学習会											0	
株式会社 バル・ミート	オンライン学習会						1					1	1
	リアル学習会											0	
株式会社 バルブレッド	オンライン学習会		1		1	1						3	3
	リアル学習会											0	

会員名	種 別	東京	神奈川	千葉	埼玉	茨城 栃木	山梨	群馬	福島	静岡	新潟	小計	合計
平田産業 有限会社	オンライン学習会		1		1							2	2
	リアル学習会											0	
松山油脂 株式会社	オンライン学習会						1					1	1
	リアル学習会											0	
株式会社 丸藤	オンライン学習会				1							1	3
	リアル学習会	2										2	
丸和油脂 株式会社	オンライン学習会				1		1					2	3
	リアル学習会	1										1	
株式会社 みそ半	オンライン学習会			1								1	1
	リアル学習会											0	
三菱食品 株式会社	オンライン学習会			1			2					3	3
	リアル学習会											0	
小計	オンライン学習会	1	7	6	5	2	11	1	1	0	0	34	
	リアル学習会	5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	7	
総計		6	8	6	6	2	11	1	1	0	0		41

設定1990年10月26日
 改訂2009年 7月 2日
 改訂2011年 7月12日
 改訂2013年 7月 2日
 改訂2014年 7月 8日

改訂2016年 7月 6日
 改訂2019年 7月20日
 改訂2021年 4月 7日
 改訂2021年 7月 6日

パルシステム協力会 会 則

第1章 総 則

- 第1条

この会は、パルシステム生活協同組合連合会の事業及び運動を支える生産者業者の連帯を深め、連合及び会員の相互発展を図ることを目的とする。
- 第2条

この会は「パルシステム協力会」と称する。
- 第3条

この会は第1条の目的を達成するために、次の事業を行う。

 1. 会員とパルシステム生活協同組合連合会との連絡及び調整
 2. 会員の事業に必要な連合の情報資料の提供
 3. 会員の親睦、交流、向上を図る事業
 4. 会員の研修会
 5. その他、前各号に付帯する事業
- 第4条

この会の事務所を、東京都新宿区大久保 2- 2- 6 ラクアス東新宿 パルシステム生活協同組合連合会内におく。

第2章 会 員

- 第5条

1. この会は次の各号に該当する者で目的に賛同する者をもって組織する。

 - ①正 会 員 パルシステム生活協同組合連合会及び子会社に口座のある取引業者は正会員となることができる
 - ②準 会 員 正会員の推薦がありパルシステム生活協同組合連合会と間接的に取引があるメーカー及び関連事業者、協力者は準会員となることができる
 - ③特別会員 パルシステム生活協同組合連合会加盟の会員単協、パルシステム生活協同組合連合会の役職員

2. この会の加入、脱退は幹事会が承認するものとする。

3. 以下の者は会員資格を喪失する。

 - ①会費の未払
 - ②この会の活動を妨げ又は著しく信用を失わせる行為をした者
 - ③パルシステム生活協同組合連合会と直接又は間接に取引の無くなった者

第3章 役 員

- 第6条

1. この会は次の役員を置く。幹事会社10 ～20 社、監事会社 3 社。

2. 役員は会長が指名した若干名の役員選挙委員会において推薦し、総会で選任するものとする。

3. その任期は2年とし、再任は妨げない。

4. 初年度の役員は、任期を1年とする。

5. 監事会社は会計及び活動の遂行を監査する。

- 第7条

1. この会に幹事会を置く。幹事会は幹事会社をもって組織する。

2. 幹事会は会長が召集する。
- 第8条

1. 幹事会において、会長1人、副会長1～2人、会計2人、事務局長1人を互選する。

2. 会長はこの会を代表し、会務を統轄する。

3. 副会長は、会長を補佐し、会長に不都合の時は、その任務を代行する。

4. 事務局長は、事務局を統轄する。
- 第9条

1. 幹事会は、総会において議決された事項の実施について具体的な審議を行うほか、緊急事項についてはこれを裁決実施し、次の総会に報告するものとする。
- 第10条

1. この会は相談役をおくことができる。

2. 相談役は会長経験者から選任し、幹事会で承認する。

3. 任期は2年とし、最大6年までとする。

4. 相談役は本人が希望すれば幹事会にオブザーバーとして出席することができる。

第4章 総 会

- 第11条

1. 総会はこの会の最高議決機関とし、毎年1回会長が召集する。

2. 前項のほか幹事会が必要と認めた場合、会長は臨時に総会を召集することができる。
- 第12条

1. 総会は正会員の過半数の出席をもって成立し、議決は多数決によりおこなう。ただし、可否同数の場合は議長が裁決する。なお、総会開催前に委任状を提出した者は、総会に出席した者とし、委任状を提出した総会の議決を承認したものとする。

2. あらかじめ通知された事項について書面議決書を提出した者も総会に出席した者とする。
- 第13条

総会の議決を要する事項は、次の通りとする。

 - ①会則の改廃
 - ②役員を選任、並びに解任
 - ③事業計画、収支予算の決定、並びに会費の徴収に関する事項
 - ④収支・決算及び事業報告に関する事項
 - ⑤前各号以外の特に重要と認められる事項

第5章 会 計

- 第14条

この会の基金及び経費は次の収入をもって充てる。

 - ①会費
 - ②臨時会費
 - ③寄付及び補助金
 - ④その他の収入
- 第15条

別途定める会費基準によるものとする。

 - ①期中の加入については、月割計算で会費を徴収する。
 - ②期中の退会については、会費の返却は行わない。

- 第16条

1. この会の事業年度は、5月1日から翌年4月末日とする。

2. 創立初年度は、10月26日より翌年4月末日までとする。

第6章 雑 則

- 第17条

1. 会員は幹事会の承認を得て、必要に応じて部会等を組織することができる。

2. この会は「パルシステム協力会ふれあい保障制度」を定め、別途基準により運営するものとする。

第7章 付 則

第18条 会員は本会の会則並びに決議を遵守しなければならない。

第19条 会則は1990年10月26日より施行する。

【資 料 編】

会 費 基 準

- ①年会費は基本会費及びパルシステム生活協同組合連合会との前年度の年間取引高に基づき査定する会費の合計額とします。
- ②年会費の払い込みは、毎年5月に請求し、6月末までに払い込むこととします。但し、期中に加入した会員は加入した翌月から起算し、月割りで年度の残月数を計算した会費を加入した翌月までに払い込むこととします。
- ③準会員、特別会員は、基本会費のみとします。
- ④総会、講演会等の参加費の扱いについては、開催決定の都度幹事会にて検討・決定し、連絡を致します。
- ⑤カタログについては、会員当たり1セットの配布を行います。但し、2セット以上必要とされる場合は別途料金を徴収します。
- ⑥基本会費は、正会員は取引高により4万円から4段階として取引高比例会費は表1に基づくものとします。
- ⑦準会員・特別会員は基本会費5万円のみとします。

<表 1 >

(単位:円)

年間取引高	取引高 比例会費	基本会費	年会費 合計
500 万以下	0	40,000	40,000
1 千万以下	20,000	40,000	60,000
3 千万以下	30,000	50,000	80,000
5 千万以下	40,000	50,000	90,000
1 億以下	50,000	60,000	110,000
2 億以下	70,000	60,000	130,000
3 億以下	100,000	60,000	160,000
6 億以下	120,000	60,000	180,000
10 億以下	130,000	70,000	200,000
10 億超	150,000	70,000	220,000

但し、2021年度に限り年会費は規定金額の半額とします。

部会運営基準

1. 幹事会は、幹事会のもとに部会を設置します。部会は、会員によって構成されます。
2. 各部長、副部長は、幹事会社から選任し、幹事会で承認します。副部長は部長を補佐し、部長が不都合の時はその任を代行する。
3. 各部会は、部長が召集します。
4. 部長、副部長は、幹事会に出席し活動報告をします。

5. 部会員及び部長、副部長の任期は2年とします。

6. この基準は幹事会が改廃することとします。

7. この基準は、1999年8月26日より施行します。

パルシステム協力会ふれあい保障制度運営基準

(総則)

- 第1条 1. この基準はパルシステム協力会会則の定めにより「パルシステム協力会ふれあい保障制度」の運営に関して定めるものである。
2. この制度はパルシステム協力会会員会社等で就業する従業員の福利・厚生を目的として設置するものである。

(利用会員)

- 第2条 1. パルシステム協力会会員はこの制度に加入して利用することが出来る。
2. 協力会会員の子会社などパルシステムと直接・間接に事業の協同関係にある会社・団体はこの制度に加入して利用することが出来る。但し、会員の推薦するものでなければならない。

(加入者の掛金納付)

- 第3条 この制度に加入し利用を欲するものは、毎年度、この会が定めた銀行口座（ふれあい共済口）に期限までに一年分一括で掛金を納付しなければならない。但し、期中でこの制度に加入し利用するものはその残期間の掛金とする。

(掛け金の保全)

- 第4条 1. 協力は銀行口座（ふれあい共済口）を設け保全する。
2. 会員から振り込まれたふれあい保障制度掛金（保険料）の内95%は見舞金として株式会社パルふれあいサービスの指定する口座に振り込み、第5条に定める損害保険会社を引き受け会社として保全する。
3. 会員から振り込まれたふれあい保障制度掛金（保険料）の内5%は結婚祝金として第1項に定める銀行口座(ふれあい共済口)で保全する。

(制度の保全)

- 第5条 1. この制度の保全のために損害保険会社を引き受け会社とする保険契約を締結する。
2. 事務局は株式会社パルふれあいサービスとする。

(給付他諸手続き)

- 第6条 給付を必要とした時は損害保険会社及び株式会社パルふれあいサービスとの間で定めた細則に基づいて行なう。その他、諸手続きも同様とする。

(改廃)

- 第7条 1. この基準の改廃はパルシステム協力会幹事会が行う。

(附則)

- (1) 制定・施行 2008年7月8日
- (2) 改定 2010年1月13日

幹事会 / 事務局会旅費支給規定

- 第1条 総 則
- 協力会の幹事会/事務局会または会として認められるその他会合への出席のための旅費の支給は本規定の定めによる。
- 第2条 支給額算出根拠
- JR普通乗車券および必要と認められる場合の特急、急行券実費とする。運賃改定の場合はそれに基づき支給額を改定する。宿泊費は必要と認められた場合、1日1万円を支給する。
- 第3条 支給方法
- 会合開催日に現金を以て支給する。
- 第4条 規定の変更
- この規定の改廃は幹事会の議決によりこれを行う。
- 第5条 付 則
- この規定は1991年3月1日から実施する。

慶弔規定

- 第1条 協力会の関連団体の慶弔に関する事項は、この慶弔規定による。金額などについて裁定が必要ある時は会長が決定する。
- 第2条 対象別金額は別表の通りとする。
- 第3条 その他協力会関連の慶弔については、原則として協力会が会員を代表して行うものとする。
- 第4条 規定の変更
- この規定の改廃は幹事会の議決によりこれを行う。
- 第5条 付 則
- この規定は1991年3月1日から実施する。

<別表>

- (1)創立記念日:創立5周年等、節目の記念日につき祝金を贈る。限度額3万円
- (2)新築・落成:事務所、設備等の新築、落成につき祝金を贈る。限度額3万円
- (3)死 亡:<香典> 限度額を3万円とし、パルシステム生活協同組合連合会役職員、会員生協の役員及び協力会員の1親等までを対象とする。献花はその都度会長裁定による。
- <弔電>パルシステム生活協同組合連合会役職員、会員生協の役員及び協力会員の2親等までを対象とする。
- (4)災 害:天災、地変、その他不測の事故等により事務所・設備に損害等を受けた時は見舞い金を贈る。限度額3万円

上記の他、必要と認められる場合は、会長の裁定でその都度対応し、限度額3万円を贈ることができる。これについては後日幹事会の承認を得る。

パルシステム協力会公式サイトを開設しました!

https://pal-kyoryokukai.jp/



2021年4月より「パルシステム協力会公式サイト」がスタートしました。
ハートをあしらった「パルシステム協力会のロゴマーク」も登場。
みなさまの連携と連帯をはかり、「パートナーシップ」のお役に立てるようなサイトを目指しています。



お役立ち情報が満載。

パルシステム組合員の暮らしを“商品の力”でよりよくしたい。そんな思いで、メーカーやベンダーなどの垣根を越えてつながっている「パルシステム協力会」。

公式サイトには、その活動や、最新情報が掲載されていますのでご利用ください。